Business　Survey　Index　　令和 3 年 10-12 月 第 132 回

企業経営者意識調査

令和 3 年 10-12 月の概要

P 1

調査結果

1　経営状況　P 4
2　雇用状況　P 8
3　在庫、価格水準　P 12
4　設備投資の状況　P 14
5　地域別にみる各産業の動向　P 16
6　道内の景況感　P 24
7　業種・地域別企業経営者の声　P 25
8　業況感の長期推移　P 31

特別調査

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　P 32
2　デジタル化の取組について　P 39
3　原油・原材料価格高騰の影響について　P 40
4　事業継続の取組について　P 41

調査方法

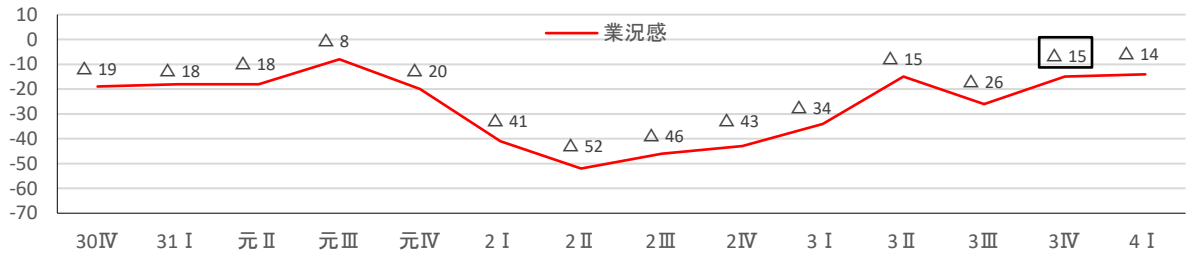
P 42

1　令和３年 10-12 月の概要

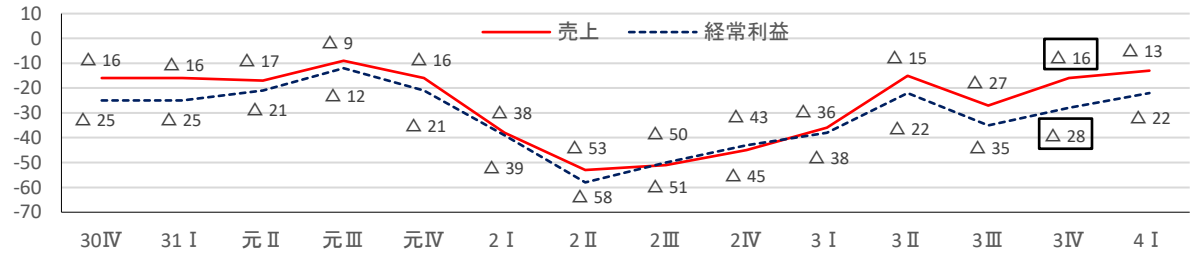
１　概　況

- □ 調査対象企業数 900 社、回答社数 581 社、回答率 64.6%。
- □ 業況感は、前期から 11 ポイント上昇し△15 ポイント。来期見通しは△14 ポイント。
- □ 売上は、前期から 11 ポイント上昇し△16 ポイント。
- □ 経常利益は、前期から７ポイント上昇し△28 ポイント。
- □ 資金繰りは、前期から８ポイント上昇し△10 ポイント。
- □ 雇用者の不足感は、前期から９ポイント上昇し 39 ポイント。
- □ 原材料価格（製造業）は、前期から 52 ポイント上昇し 77 ポイント。
- □ 仕入価格（卸売･小売業）は、前期から 47 ポイント上昇し 63 ポイント。
- □ 道内の景況感は、前期から 28 ポイント上昇し△13 ポイント。

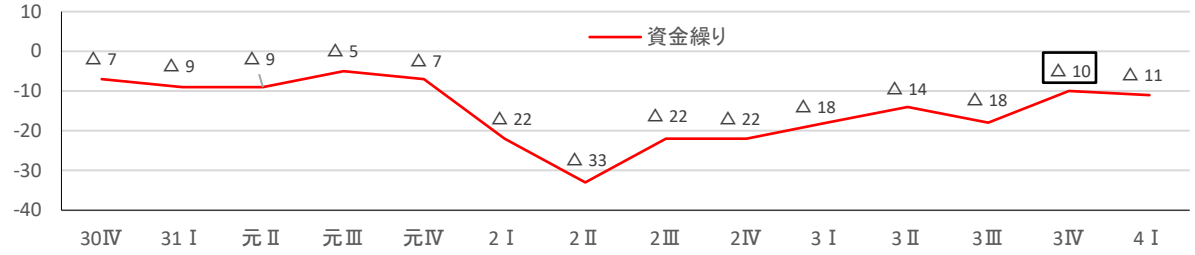
（１）業況感（「上昇」－「下降」）



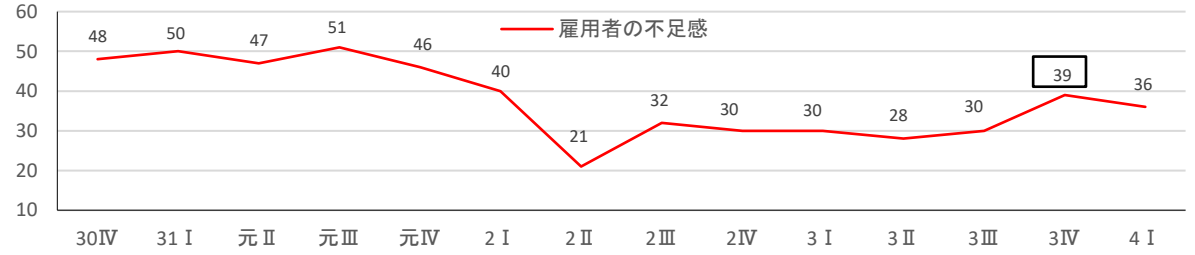
（２）売上･経常利益（「増加」－「減少」）



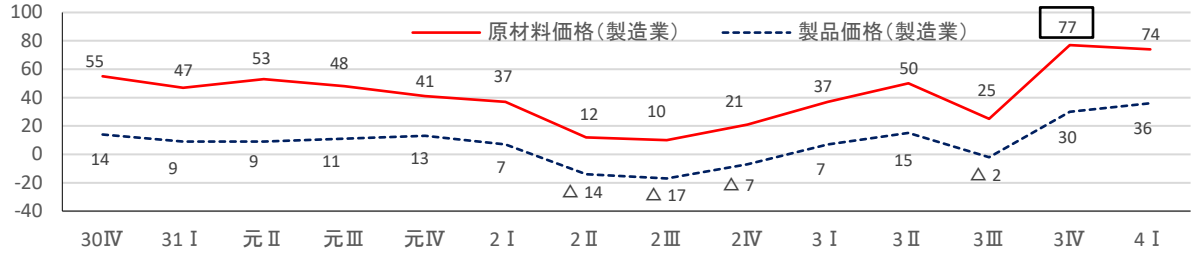
（３）資金繰り（「改善」－「悪化」）



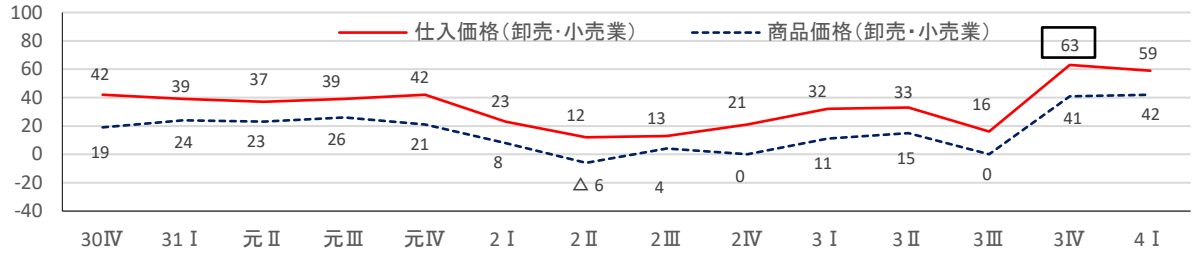
（４）雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



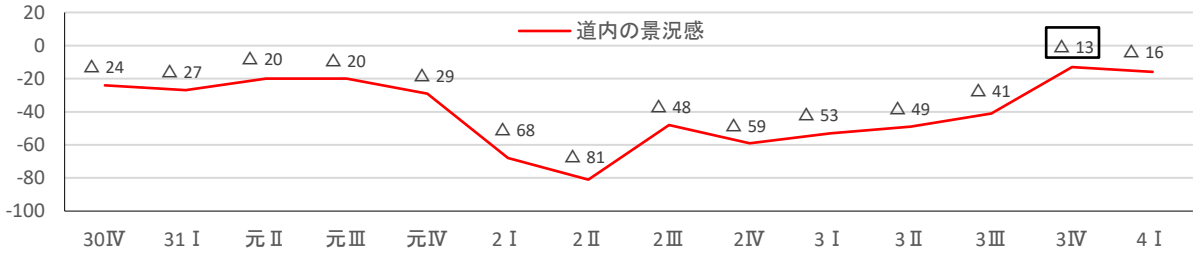
（５）原材料価格・製品価格［製造業］（「上昇」－「下降」）



（６）仕入価格・商品価格［卸売･小売業］（「上昇」－「下降」）



（７）道内の景況感（「上昇」－「下降」）



２　業種別･地域別の業況感

□ 業種別では、建設業で横ばいとなり、その他の業種で上昇。
□ 地域別では、道北地域で下降し、その他の地域で上昇。

（１）今期実績と来期見通し

区　分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 26	13	59	28	△ 15	11	11	64	25	△ 14	1
業種	建設業	△ 17	6	71	23	△ 17	0	2	76	22	△ 20	△ 3
	製造業	△ 21	21	54	25	△ 4	17	14	59	27	△ 13	△ 9
	卸売･小売業	△ 20	15	55	30	△ 15	5	12	59	29	△ 17	△ 2
	運輸業	△ 31	13	55	32	△ 19	12	11	60	29	△ 18	1
	サービス業	△ 35	10	61	29	△ 19	16	13	66	21	△ 8	11
資本金	5千万円未満	△ 32	11	58	31	△ 20	12	10	61	29	△ 19	1
	5千万以上～1億円未満	△ 13	16	60	24	△ 8	5	10	66	24	△ 14	△ 6
	1億円以上	△ 14	16	64	20	△ 4	10	14	78	8	6	10
地域	道南	△ 31	4	65	31	△ 27	4	4	66	30	△ 26	1
	道央	△ 22	15	60	25	△ 10	12	14	64	22	△ 8	2
	道北	△ 19	13	51	36	△ 23	△ 4	9	64	27	△ 18	5
	オホーツク	△ 33	17	50	33	△ 16	17	8	60	32	△ 24	△ 8
	十勝	△ 38	15	61	24	△ 9	29	16	65	19	△ 3	6
	釧路･根室	△ 29	9	67	24	△ 15	14	6	64	30	△ 24	△ 9

（２）業種別の主な上昇･下降業種［中分類］　（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （△17→△17）		設備工事業（△22→△25）
製造業 （△21→△4）	食料品製造業（△12→11） 木材・木製品製造業（50→71） パルプ・紙・紙加工品製造業 （△67→△50） 窯業・土石製品製造業（△27→0） 金属製品製造業（△10→△9）	
卸売･小売業 （△20→△15）	飲食料品卸売業（△17→0） 飲食料品小売業（△46→14）	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 （15→10） 機械器具小売業（△12→△45）
運輸業 （△31→△19）	道路旅客運送業（△64→0）	道路貨物運送業（△30→△38） 倉庫業（8→△12）
サービス業 （△35→△19）	情報サービス業（△9→△5） 技術サービス業（△33→△24） 宿泊業（△62→△17） 飲食店（△37→△19） 職業紹介・労働者派遣業（△40→△20）	物品賃貸業（△25→△37） 廃棄物処理業（0→△13） 自動車整備業（△15→△20）

（３）地域別の上昇･下降業種［大分類］　（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

地　域	上昇業種	下降業種
道南（△31→△27）	製造業（△30→△9） 運輸業（△30→△27） サービス業（△38→△33）	建設業（△15→△25）
道央（△22→△10）	製造業（△22→△9） 卸売･小売業（△16→△6） 運輸業（△16→△4） サービス業（△30→△11）	建設業（△13→△23）
道北（△19→△23）	卸売･小売業（△17→△13） サービス業（△48→△41）	建設業（0→△13） 運輸業（△20→△43）
オホーツク（△33→△16）	建設業（△30→△9） 製造業（△30→8） 運輸業（△73→△22） サービス業（△29→△18）	卸売･小売業（0→△46）
十勝（△38→△9）	建設業（△18→11） 製造業（△46→9） 卸売･小売業（△45→△8） 運輸業（△42→△17） サービス業（△35→△26）	
釧路･根室（△29→△15）	建設業（△36→△27） 卸売･小売業（△18→△14） 運輸業（△30→△18） サービス業（△34→7）	製造業（△25→△27）

2　調査結果

1　経営状況

（1）業況感

今期の業況感ＢＳＩは △ 15（前期から 11 ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業で横ばい
・地域別にみると、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道北でマイナス幅が拡大

来期の業況感ＢＳＩは △ 14（今期から１ポイント上昇）

図1－(1)　業況感

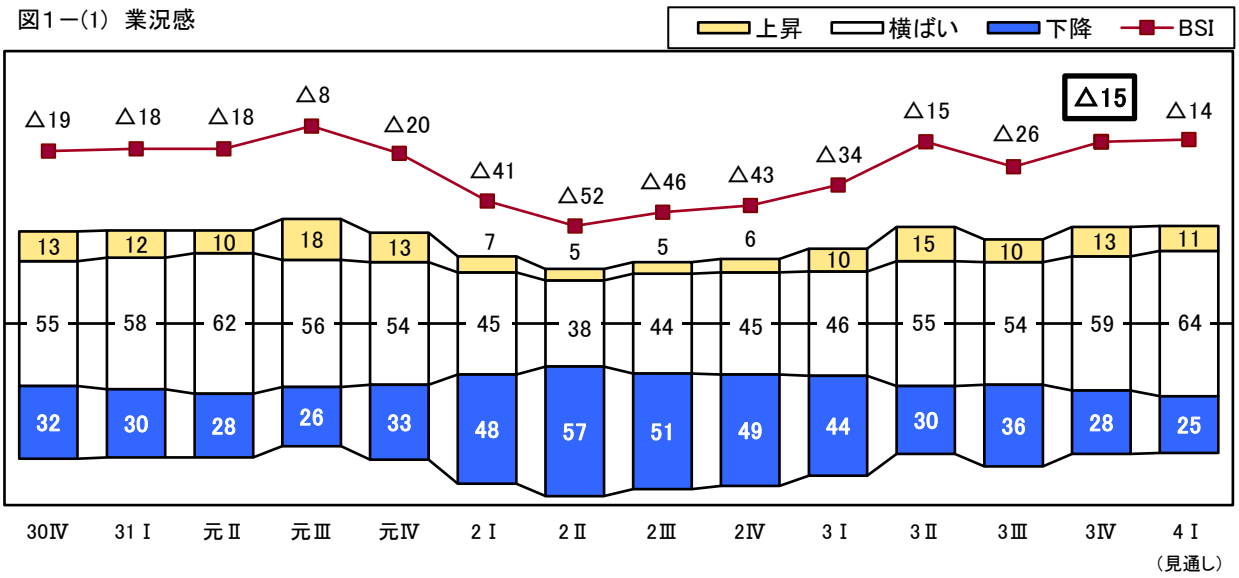


表1-(1)　業況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 26	13	59	28	△ 15	11	11	64	25	△ 14	1
	札幌市を除く	△ 30	12	57	31	△ 19	11	10	63	27	△ 17	2
	札幌市	△ 15	19	62	19	0	15	13	69	18	△ 5	△ 5
業種	建設業	△ 17	6	71	23	△ 17	0	2	76	22	△ 20	△ 3
	製造業	△ 21	21	54	25	△ 4	17	14	59	27	△ 13	△ 9
	卸売･小売業	△ 20	15	55	30	△ 15	5	12	59	29	△ 17	△ 2
	運輸業	△ 31	13	55	32	△ 19	12	11	60	29	△ 18	1
	サービス業	△ 35	10	61	29	△ 19	16	13	66	21	△ 8	11
資本金	5千万円未満	△ 32	11	58	31	△ 20	12	10	61	29	△ 19	1
	5千万以上～1億円未満	△ 13	16	60	24	△ 8	5	10	66	24	△ 14	△ 6
	1億円以上	△ 14	16	64	20	△ 4	10	14	78	8	6	10
地域	道南	△ 31	4	65	31	△ 27	4	4	66	30	△ 26	1
	道央	△ 22	15	60	25	△ 10	12	14	64	22	△ 8	2
	札幌市を除く	△ 29	11	58	31	△ 20	9	15	59	26	△ 11	9
	札幌市	△ 15	19	62	19	0	15	13	69	18	△ 5	△ 5
	道北	△ 19	13	51	36	△ 23	△ 4	9	64	27	△ 18	5
	オホーツク	△ 33	17	50	33	△ 16	17	8	60	32	△ 24	△ 8
	十勝	△ 38	15	61	24	△ 9	29	16	65	19	△ 3	6
	釧路･根室	△ 29	9	67	24	△ 15	14	6	64	30	△ 24	△ 9

（２）売上（生産）高

今期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 16 （前期から 11 ポイント上昇）

・業種別でみると、全ての業種でマイナス幅が縮小
・地域別でみると、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南で横ばい

来期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 13（今期から 3 ポイント上昇）

図1－(2) 売上(生産)高

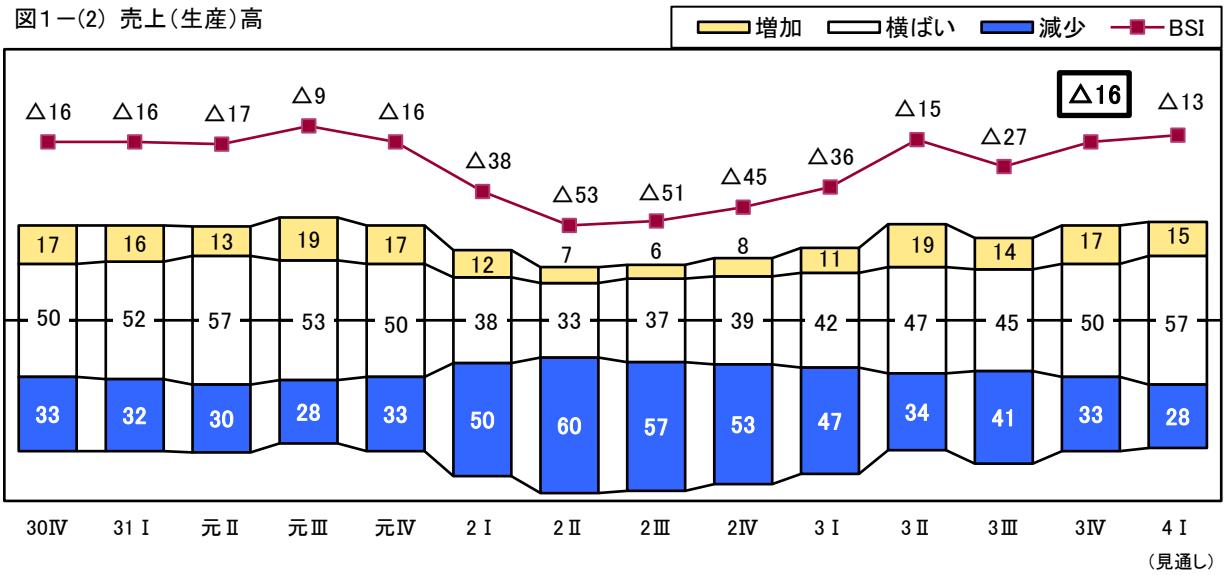


表1-(2)　売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区　分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 27	17	50	33	△ 16	11	15	57	28	△ 13	3
	札幌市を除く	△ 29	15	51	34	△ 19	10	13	59	28	△ 15	4
	札幌市	△ 21	23	49	28	△ 5	16	20	52	28	△ 8	△ 3
業種	建設業	△ 23	11	57	32	△ 21	2	5	63	32	△ 27	△ 6
	製造業	△ 19	25	44	31	△ 6	13	23	51	26	△ 3	3
	卸売･小売業	△ 18	20	47	33	△ 13	5	16	51	33	△ 17	△ 4
	運輸業	△ 36	15	49	36	△ 21	15	13	62	25	△ 12	9
	サービス業	△ 38	14	54	32	△ 18	20	15	60	25	△ 10	8
資本金	5千万円未満	△ 34	14	50	36	△ 22	12	12	57	31	△ 19	3
	5千万以上～1億円未満	△ 20	18	49	33	△ 15	5	13	60	27	△ 14	1
	1億円以上	△ 7	26	56	18	8	15	30	55	15	15	7
地域	道南	△ 30	8	54	38	△ 30	0	7	63	30	△ 23	7
	道央	△ 26	18	51	31	△ 13	13	19	53	28	△ 9	4
	札幌市を除く	△ 30	14	52	34	△ 20	10	17	56	27	△ 10	10
	札幌市	△ 21	23	49	28	△ 5	16	20	52	28	△ 8	△ 3
	道北	△ 19	21	45	34	△ 13	6	13	60	27	△ 14	△ 1
	オホーツク	△ 31	18	44	38	△ 20	11	13	52	35	△ 22	△ 2
	十勝	△ 38	17	51	32	△ 15	23	16	60	24	△ 8	7
	釧路･根室	△ 32	13	61	26	△ 13	19	13	63	24	△ 11	2

（３）経常利益

今期の経常利益ＢＳＩは △ 28（前期から７ポイント上昇）

・業種別でみると、全ての業種でマイナス幅が縮小
・地域別でみると、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南でマイナス幅が拡大

来期の経常利益ＢＳＩは △ 22（今期から６ポイント上昇）

図１－(3) 経常利益

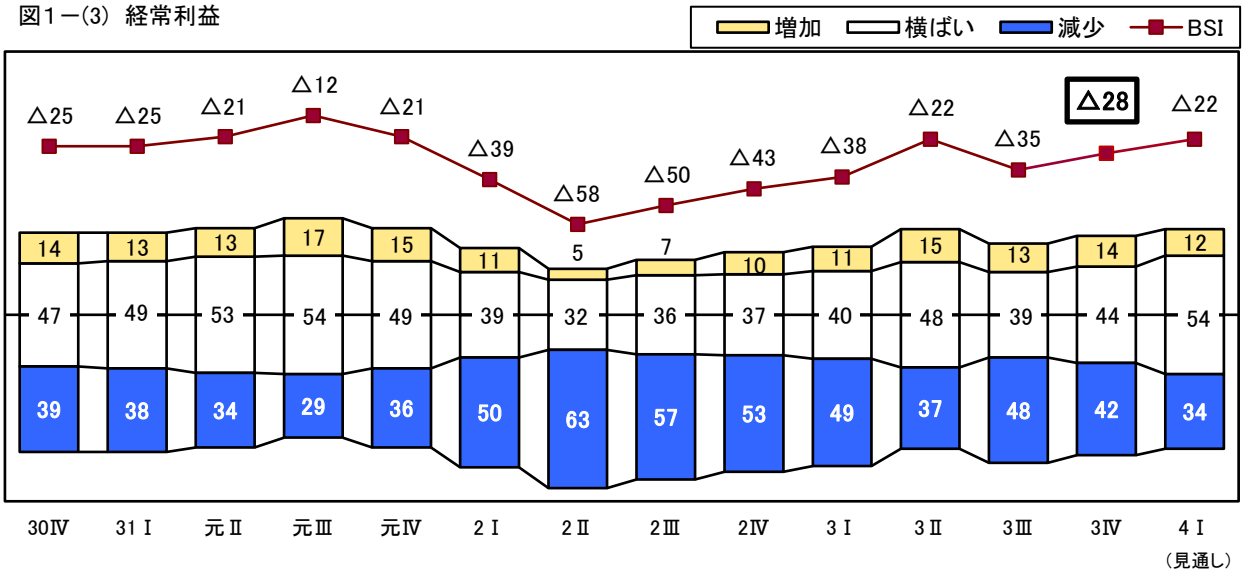


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 35	14	44	42	△ 28	7	12	54	34	△ 22	6
	札幌市を除く	△ 41	12	44	44	△ 32	9	11	54	35	△ 24	8
	札幌市	△ 19	20	47	33	△ 13	6	19	49	32	△ 13	0
業種	建設業	△ 42	12	42	46	△ 34	8	6	53	41	△ 35	△ 1
	製造業	△ 28	21	40	39	△ 18	10	16	46	38	△ 22	△ 4
	卸売･小売業	△ 27	18	44	38	△ 20	7	13	49	38	△ 25	△ 5
	運輸業	△ 47	9	39	52	△ 43	4	9	58	33	△ 24	19
	サービス業	△ 38	12	50	38	△ 26	12	14	59	27	△ 13	13
資本金	5千万円未満	△ 44	12	43	45	△ 33	11	10	53	37	△ 27	6
	5千万以上～1億円未満	△ 27	18	43	39	△ 21	6	13	48	39	△ 26	△ 5
	1億円以上	△ 13	20	50	30	△ 10	3	23	60	17	6	16
地域	道南	△ 38	6	49	45	△ 39	△ 1	6	52	42	△ 36	3
	道央	△ 30	15	47	38	△ 23	7	16	53	31	△ 15	8
	札幌市を除く	△ 40	10	47	43	△ 33	7	14	56	30	△ 16	17
	札幌市	△ 19	20	47	33	△ 13	6	19	49	32	△ 13	0
	道北	△ 33	24	30	46	△ 22	11	13	51	36	△ 23	△ 1
	オホーツク	△ 42	13	44	43	△ 30	12	5	57	38	△ 33	△ 3
	十勝	△ 46	14	42	44	△ 30	16	16	53	31	△ 15	15
	釧路･根室	△ 48	7	52	41	△ 34	14	7	58	35	△ 28	6

（４）資金繰り

今期の資金繰りＢＳＩは △ 10（前期から８ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、製造業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南、道央、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道北でマイナス幅が拡大

来期の資金繰りＢＳＩは △ 11（今期から１ポイント下降）

図1－(4) 資金繰り

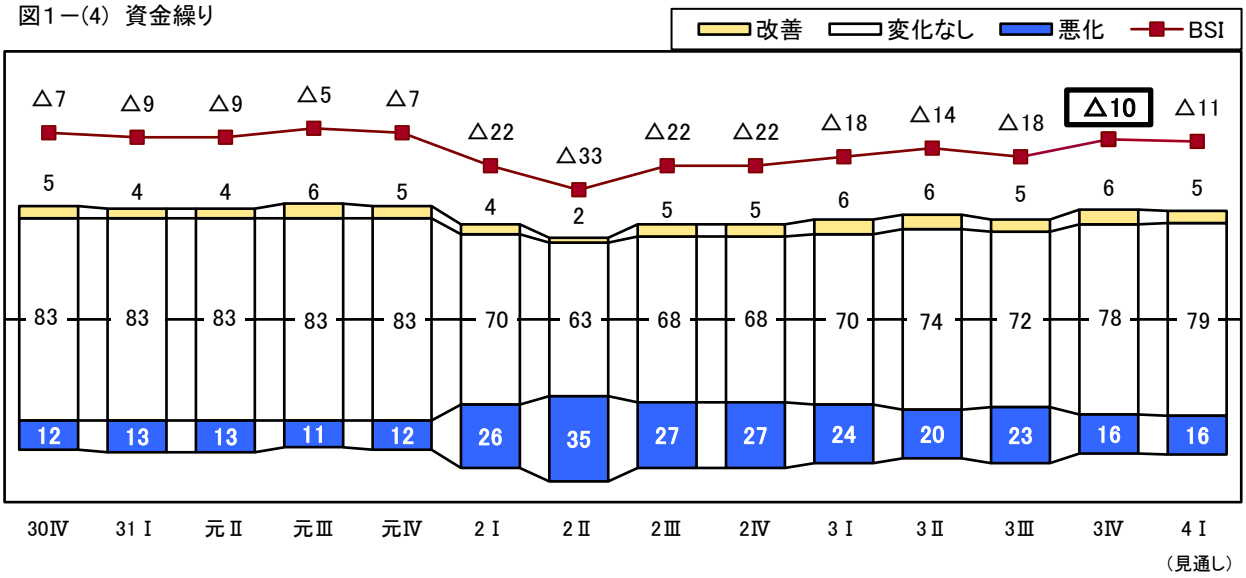


表1-(4) 資金繰り（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総 計		△ 18	6	78	16	△ 10	8	5	79	16	△ 11	△ 1
	札幌市を除く	△ 18	5	77	18	△ 13	5	4	80	16	△ 12	1
	札幌市	△ 16	9	80	11	△ 2	14	7	78	15	△ 8	△ 6
業種	建設業	△ 2	3	93	4	△ 1	1	1	94	5	△ 4	△ 3
	製造業	△ 7	7	78	15	△ 8	△ 1	8	74	18	△ 10	△ 2
	卸売･小売業	△ 14	8	77	15	△ 7	7	3	81	16	△ 13	△ 6
	運輸業	△ 23	6	79	15	△ 9	14	6	76	18	△ 12	△ 3
	サービス業	△ 31	6	69	25	△ 19	12	5	76	19	△ 14	5
資本金	5千万円未満	△ 24	6	73	21	△ 15	9	5	75	20	△ 15	0
	5千万以上～1億円未満	△ 9	8	80	12	△ 4	5	4	86	10	△ 6	△ 2
	1億円以上	1	6	90	4	2	1	6	90	4	2	0
地域	道南	△ 24	4	73	23	△ 19	5	4	72	24	△ 20	△ 1
	道央	△ 17	7	79	14	△ 7	10	6	81	13	△ 7	0
	札幌市を除く	△ 19	6	78	16	△ 10	9	6	84	10	△ 4	6
	札幌市	△ 16	9	80	11	△ 2	14	7	78	15	△ 8	△ 6
	道北	△ 10	9	71	20	△ 11	△ 1	3	80	17	△ 14	△ 3
	オホーツク	△ 16	3	82	15	△ 12	4	2	80	18	△ 16	△ 4
	十勝	△ 20	5	80	15	△ 10	10	7	81	12	△ 5	5
	釧路･根室	△ 21	4	79	17	△ 13	8	2	78	20	△ 18	△ 5

2　雇用状況

（1）雇用者総数

今期の雇用者総数ＢＳＩは △ 11（前期から３ポイント下降）

・業種別にみると、製造業でマイナス幅が縮小、建設業がマイナスに転換、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、十勝でマイナス幅が縮小、道央が横ばい、道南、道北、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数ＢＳＩは 0（今期から 11 ポイント上昇）

図2－(1) 雇用者総数

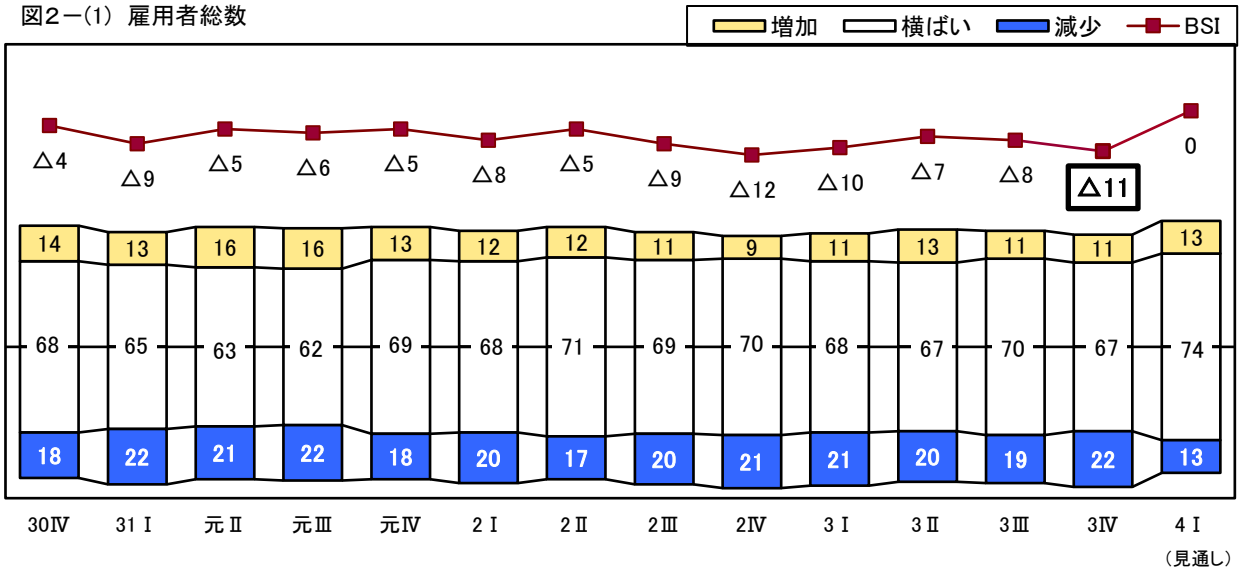


表2-(1) 雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 8	11	67	22	△ 11	△ 3	13	74	13	0	11
	札幌市を除く	△ 8	9	70	21	△ 12	△ 4	11	76	13	△ 2	10
	札幌市	△ 6	19	57	24	△ 5	1	22	67	11	11	16
業種	建設業	3	13	71	16	△ 3	△ 6	11	79	10	1	4
	製造業	△ 6	17	61	22	△ 5	1	16	72	12	4	9
	卸売･小売業	△ 1	10	76	14	△ 4	△ 3	10	77	13	△ 3	1
	運輸業	△ 12	8	64	28	△ 20	△ 8	8	74	18	△ 10	10
	サービス業	△ 14	10	65	25	△ 15	△ 1	18	69	13	5	20
資本金	5千万円未満	△ 10	9	68	23	△ 14	△ 4	12	74	14	△ 2	12
	5千万以上～1億円未満	△ 10	14	62	24	△ 10	0	14	74	12	2	12
	1億円以上	7	19	69	12	7	0	19	73	8	11	4
地域	道南	△ 5	6	79	15	△ 9	△ 4	10	80	10	0	9
	道央	△ 9	13	65	22	△ 9	0	14	74	12	2	11
	札幌市を除く	△ 13	6	74	20	△ 14	△ 1	6	81	13	△ 7	7
	札幌市	△ 6	19	57	24	△ 5	1	22	67	11	11	16
	道北	△ 2	8	72	20	△ 12	△ 10	10	77	13	△ 3	9
	オホーツク	△ 7	12	63	25	△ 13	△ 6	13	72	15	△ 2	11
	十勝	△ 2	19	62	19	0	2	14	70	16	△ 2	△ 2
	釧路･根室	△ 13	11	61	28	△ 17	△ 4	19	64	17	2	19

（２）雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感ＢＳＩは 39（前期から 9 ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業、製造業、運輸業、サービス業でプラス幅が拡大、卸売・小売業でプラス幅が縮小
・地域別にみると、道南、道央、道北、釧路・根室でプラス幅が拡大、オホーツクで横ばい、十勝でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感ＢＳＩは 36（今期から 3 ポイント下降）

図2－(2) 雇用者の不足感

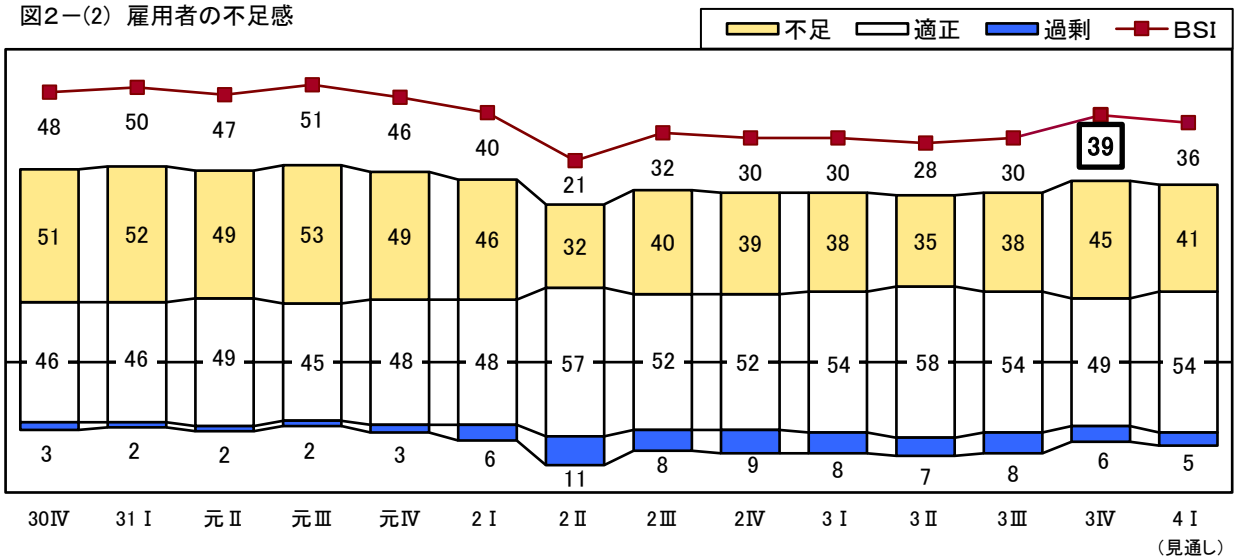


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総 計		30	45	49	6	39	9	41	54	5	36	△ 3
	札幌市を除く	33	46	49	5	41	8	41	55	4	37	△ 4
	札幌市	23	41	51	8	33	10	39	54	7	32	△ 1
業種	建設業	52	63	36	1	62	10	59	39	2	57	△ 5
	製造業	31	45	51	4	41	10	38	57	5	33	△ 8
	卸売･小売業	28	35	56	9	26	△ 2	32	60	8	24	△ 2
	運輸業	34	51	45	4	47	13	48	51	1	47	0
	サービス業	20	39	52	9	30	10	35	60	5	30	0
資本金	5千万円未満	29	43	50	7	36	7	39	55	6	33	△ 3
	5千万以上～1億円未満	37	51	46	3	48	11	46	53	1	45	△ 3
	1億円以上	29	43	50	7	36	7	42	57	1	41	5
地域	道南	22	42	51	7	35	13	39	54	7	32	△ 3
	道央	24	40	52	8	32	8	37	57	6	31	△ 1
	札幌市を除く	26	40	53	7	33	7	35	59	6	29	△ 4
	札幌市	23	41	51	8	33	10	39	54	7	32	△ 1
	道北	42	56	39	5	51	9	52	45	3	49	△ 2
	オホーツク	40	43	54	3	40	0	38	60	2	36	△ 4
	十勝	45	51	42	7	44	△ 1	45	52	3	42	△ 2
	釧路･根室	28	46	54	0	46	18	41	59	0	41	△ 5

（３）残業時間

今期の残業時間ＢＳＩは △ 14（前期から９ポイント上昇）

・業種別、地域別ともに、全ての業種、地域でマイナス幅が縮小

来期の残業時間ＢＳＩは △ 12（今期から２ポイント上昇）

図2－(3) 残業時間

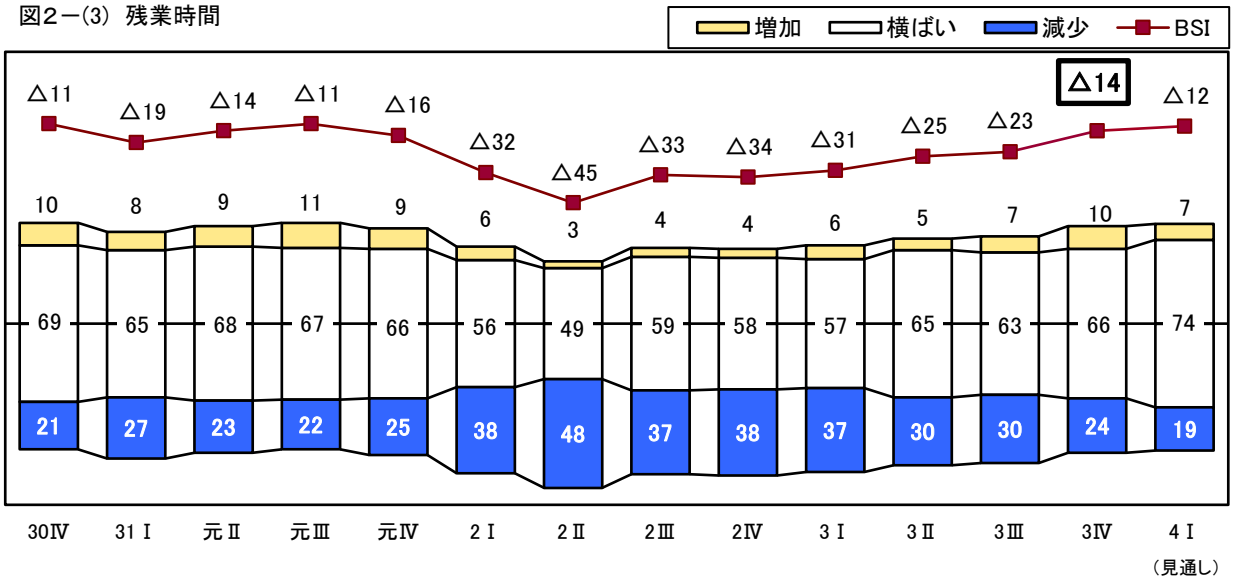


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 23	10	66	24	△ 14	9	7	74	19	△ 12	2
	札幌市を除く	△ 23	8	67	25	△ 17	6	6	74	20	△ 14	3
	札幌市	△ 20	14	63	23	△ 9	11	13	68	19	△ 6	3
業種	建設業	△ 26	6	70	24	△ 18	8	3	75	22	△ 19	△ 1
	製造業	△ 15	22	56	22	0	15	13	72	15	△ 2	△ 2
	卸売･小売業	△ 13	5	78	17	△ 12	1	4	79	17	△ 13	△ 1
	運輸業	△ 22	12	59	29	△ 17	5	9	70	21	△ 12	5
	サービス業	△ 32	6	66	28	△ 22	10	7	72	21	△ 14	8
資本金	5千万円未満	△ 24	8	67	25	△ 17	7	6	74	20	△ 14	3
	5千万以上～1億円未満	△ 25	10	68	22	△ 12	13	8	74	18	△ 10	2
	1億円以上	△ 13	17	58	25	△ 8	5	11	72	17	△ 6	2
地域	道南	△ 28	9	65	26	△ 17	11	7	70	23	△ 16	1
	道央	△ 20	11	65	24	△ 13	7	10	70	20	△ 10	3
	札幌市を除く	△ 21	9	65	26	△ 17	4	7	71	22	△ 15	2
	札幌市	△ 20	14	63	23	△ 9	11	13	68	19	△ 6	3
	道北	△ 23	8	72	20	△ 12	11	1	86	13	△ 12	0
	オホーツク	△ 31	4	63	33	△ 29	2	0	70	30	△ 30	△ 1
	十勝	△ 15	10	71	19	△ 9	6	12	71	17	△ 5	4
	釧路･根室	△ 27	11	63	26	△ 15	12	7	80	13	△ 6	9

（４） １人当たり賃金

今期の１人当たり賃金ＢＳＩは 27（前期から 14 ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業でプラス幅が拡大、運輸業がプラスに転換
・地域別に見ると、全ての地域でプラス幅が拡大

来期の１人当たり賃金ＢＳＩは 22（今期から５ポイント下降）

図２－(4) １人当たり賃金

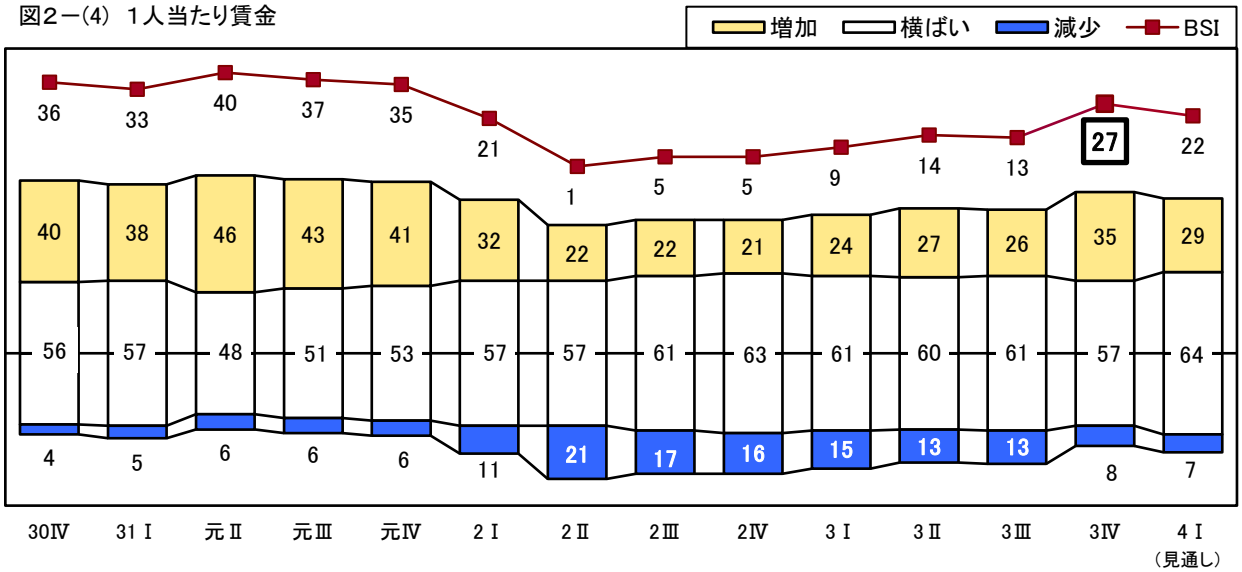


表2-(4) １人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		13	35	57	8	27	14	29	64	7	22	△ 5
	札幌市を除く	13	36	55	9	27	14	29	65	6	23	△ 4
	札幌市	17	31	62	7	24	7	29	62	9	20	△ 4
業種	建設業	25	45	52	3	42	17	24	72	4	20	△ 22
	製造業	30	47	44	9	38	8	21	66	13	8	△ 30
	卸売･小売業	20	38	58	4	34	14	35	61	4	31	△ 3
	運輸業	△ 9	25	60	15	10	19	34	61	5	29	19
	サービス業	6	27	63	10	17	11	29	63	8	21	4
資本金	5千万円未満	12	34	56	10	24	12	29	64	7	22	△ 2
	5千万以上～1億円未満	15	39	53	8	31	16	29	62	9	20	△ 11
	1億円以上	24	35	61	4	31	7	27	72	1	26	△ 5
地域	道南	7	38	51	11	27	20	15	71	14	1	△ 26
	道央	10	29	61	10	19	9	27	66	7	20	1
	札幌市を除く	3	27	59	14	13	10	25	69	6	19	6
	札幌市	17	31	62	7	24	7	29	62	9	20	△ 4
	道北	25	42	53	5	37	12	32	62	6	26	△ 11
	オホーツク	16	42	48	10	32	16	50	47	3	47	15
	十勝	21	37	55	8	29	8	25	73	2	23	△ 6
	釧路･根室	15	41	57	2	39	24	30	64	6	24	△ 15

３　在庫、価格水準

（１）製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「不足」、「過大」が拡大、「適正」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
・製品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

来期の見通し

・製品在庫水準は、「適正」が拡大、「過大」が横ばい、「不足」が縮小
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「下降」が横ばい、「上昇」が縮小
・製品価格は、「上昇」が拡大、「横ばい」が横ばい、「下降」が縮小

図３－(1)　製品在庫水準

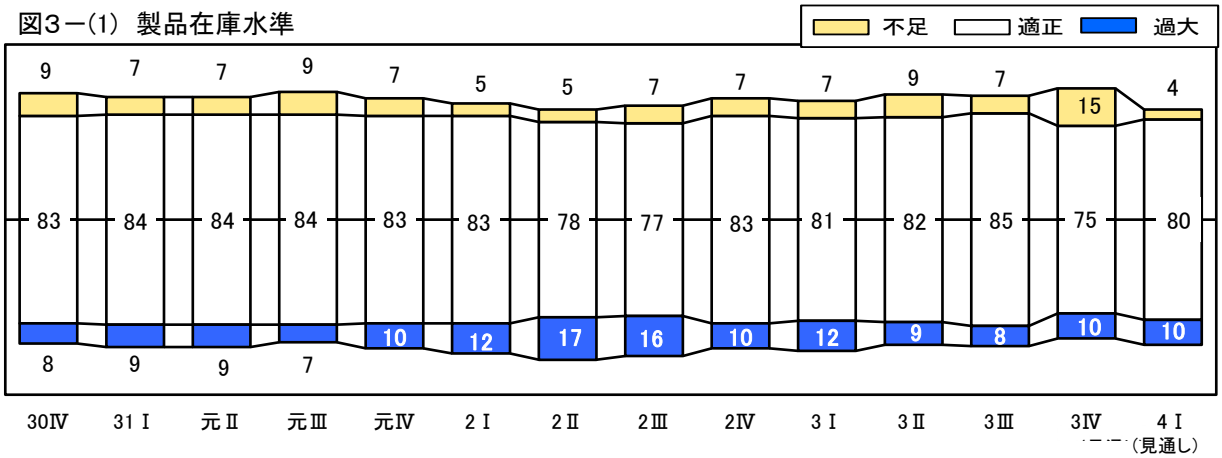


図３－(2)　仕入価格（原材料）

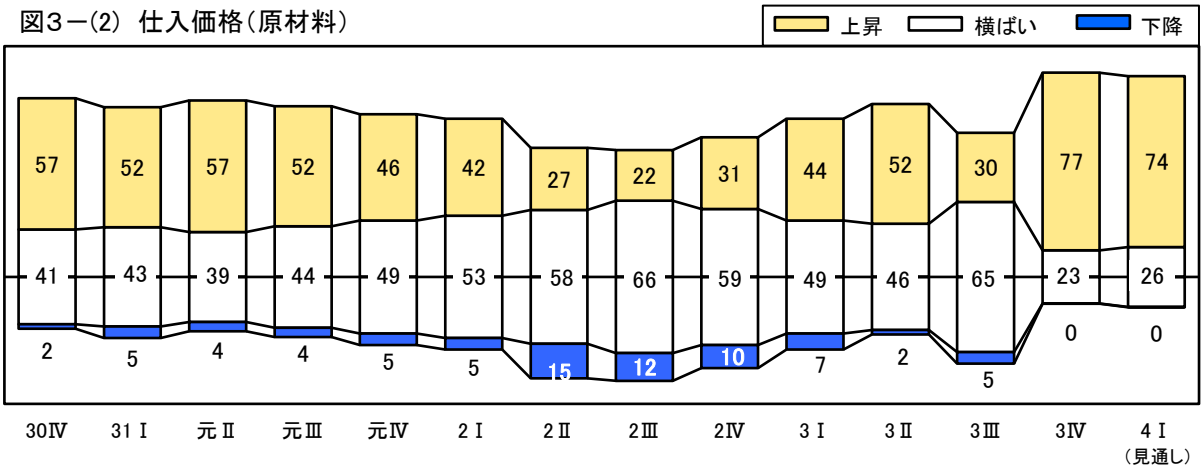
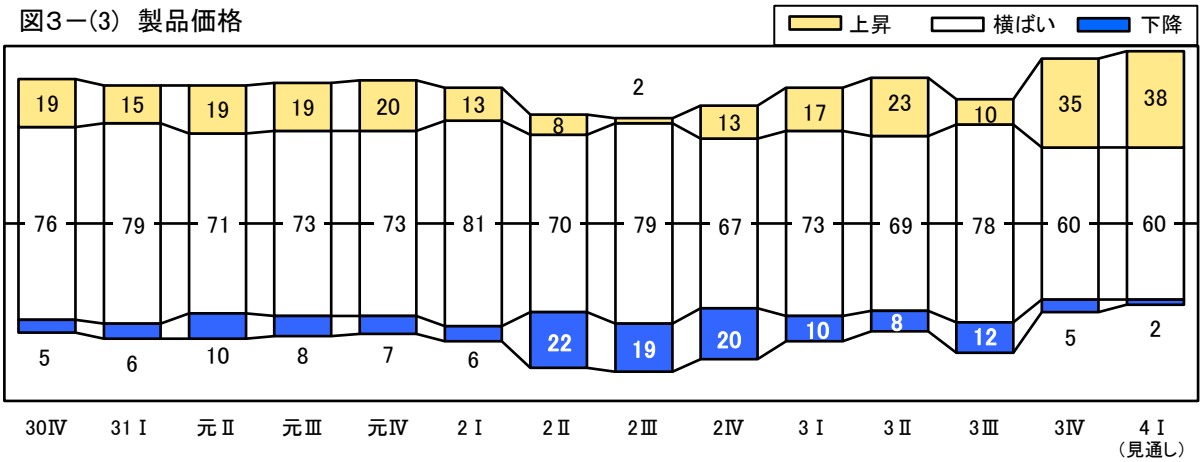


図３－(3)　製品価格



（２）卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「不足」が拡大、「適正」、「過大」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
・商品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」「過大」が縮小
・仕入価格は、「横ばい」、「下降」が拡大、「上昇」が縮小
・商品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が横ばい、「下降」が縮小

図３－(4) 商品在庫水準

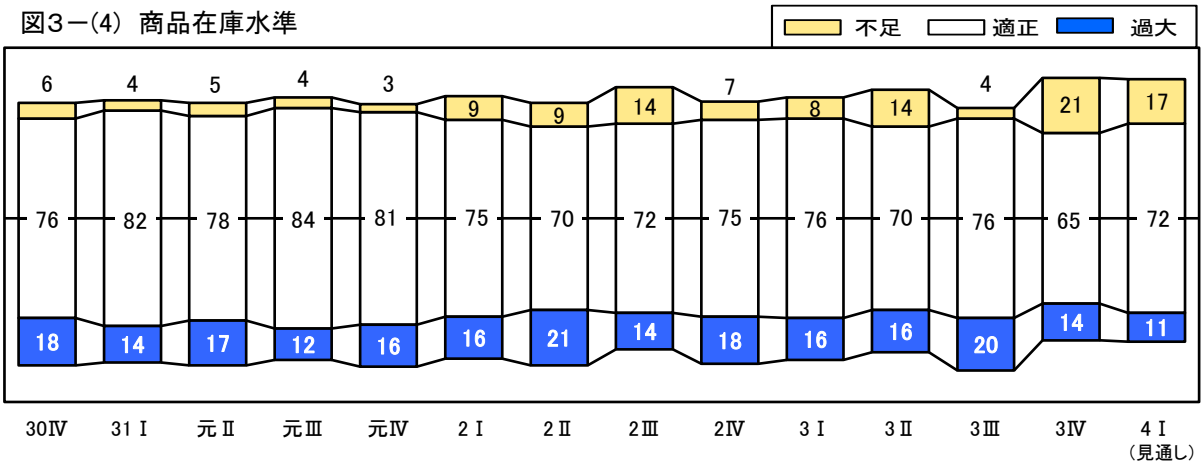


図３－(5) 仕入価格（商品）

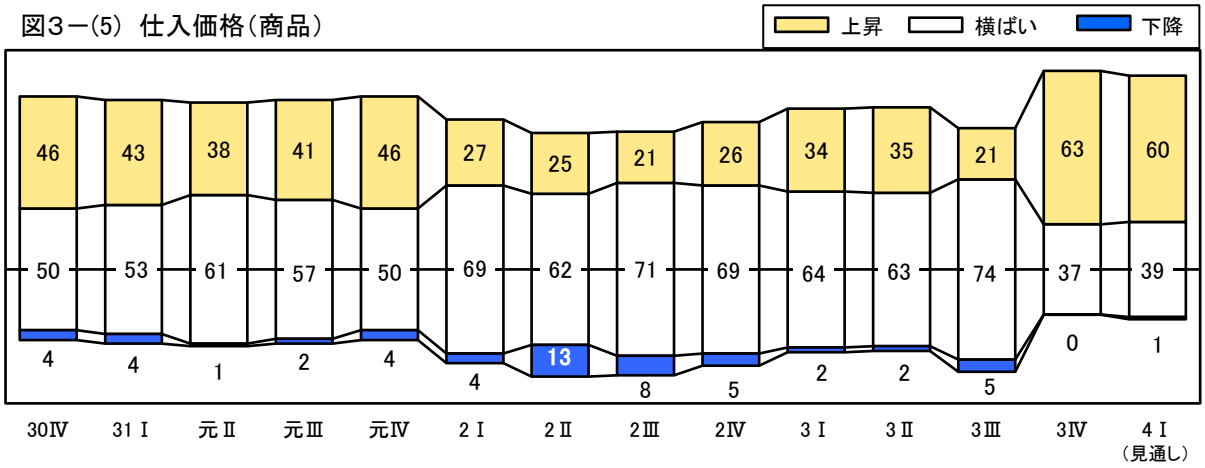
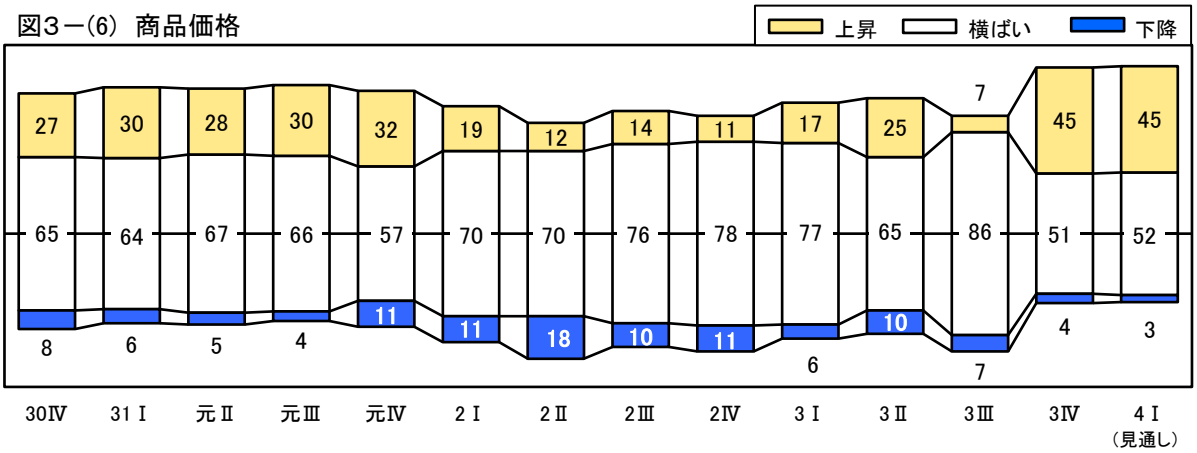


図３－(6) 商品価格



4　設備投資の状況

今期の実績

・「設備投資をした」と回答した企業は 33%で、前期から上昇

・設備投資の目的については、「設備更新」が 78%、「生産・販売能力拡大」が 23%、「合理化・省力化」が 18%（複数回答）

来期の見通し

・「設備投資をする」と回答した企業は 30%で、今期から下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が 73%、「合理化・省力化」が 25%、「生産・販売能力拡大」が 23%（複数回答）

図４－(1) 設備投資の状況

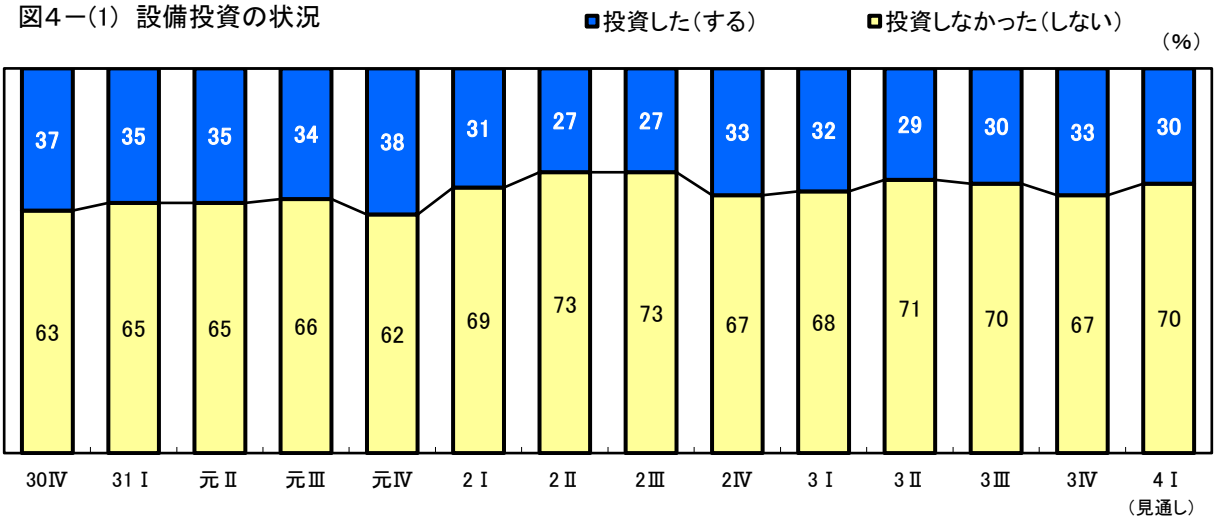


図４－(2) 設備投資の目的(複数回答)

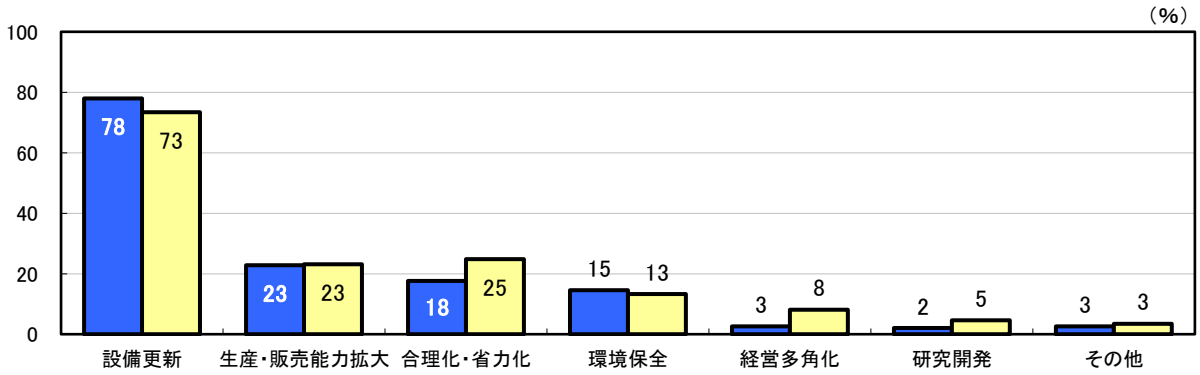


表４－(1) 設備投資の状況（R3年7-9実績）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R3年 7-9月 設備投資した	R3年 10-12月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答） 設備更新	生産・販売能力拡大	合理化省力化	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		30	33	78	23	18	15	3	2	3
	札幌市を除く	28	31	82	20	12	18	1	1	1
	札幌市	38	41	68	30	34	4	6	6	6
業種	建設業	33	34	91	13	6	6	3	0	3
	製造業	36	39	74	36	31	17	2	7	0
	卸売･小売業	27	34	79	18	11	13	3	0	3
	運輸業	46	40	79	21	12	9	3	0	0
	サービス業	21	26	72	23	23	23	2	2	6
資本金	5千万円未満	24	25	72	23	17	15	3	1	2
	5千万以上～1億円未満	31	39	85	24	13	11	2	0	4
	1億円以上	58	60	84	22	24	18	2	6	2
地域	道南	21	28	95	10	0	25	0	0	0
	道央	36	36	75	25	26	13	3	5	3
	札幌市を除く	34	31	84	18	16	24	0	3	0
	札幌市	38	41	68	30	34	4	6	6	6
	道北	25	33	70	30	17	10	0	0	3
	オホーツク	25	27	75	31	6	13	6	0	6
	十勝	30	27	88	19	13	19	0	0	0
	釧路・根室	29	43	83	13	13	17	4	0	0

表４－(2) 設備投資の状況（R4年1-3月見通し）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R4年1-3月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答） 設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		30	73	25	23	13	8	5	3
	札幌市を除く	28	74	22	24	17	8	4	2
	札幌市	38	72	33	22	4	9	7	7
業種	建設業	30	82	14	14	4	4	7	4
	製造業	37	74	28	31	23	8	3	5
	卸売･小売業	26	72	21	21	10	3	0	7
	運輸業	38	81	9	13	6	9	6	0
	サービス業	26	62	42	31	18	13	7	2
資本金	5千万円未満	25	67	23	22	15	12	5	3
	5千万以上～1億円未満	31	72	22	25	11	6	3	6
	1億円以上	52	89	32	25	11	2	5	2
地域	道南	21	80	20	13	33	0	7	7
	道央	33	75	31	25	10	5	5	5
	札幌市を除く	28	79	29	29	18	0	3	3
	札幌市	38	72	33	22	4	9	7	7
	道北	29	72	20	20	8	12	0	0
	オホーツク	28	50	19	38	13	13	13	6
	十勝	32	83	33	22	11	11	6	0
	釧路・根室	35	74	5	16	21	16	0	0

5　地域別にみる各産業の動向

（1）道南

今期の業況感ＢＳＩは △ 27（前期から４ポイント上昇）

主な上昇業種･･･輸送用機械器具製造業（△100→0）、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△50→0）、飲食料品小売業（△50→0）、
水運業（△50→0）、宿泊業（△71→△37）

主な下降業種･･･機械器具小売業（△25→△67）、鉄道業（100→0）、
飲食店（△33→△100）、自動車整備業（0→△50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 26（今期から１ポイント上昇）

図5－(1)　地域別BSIの推移【道南】

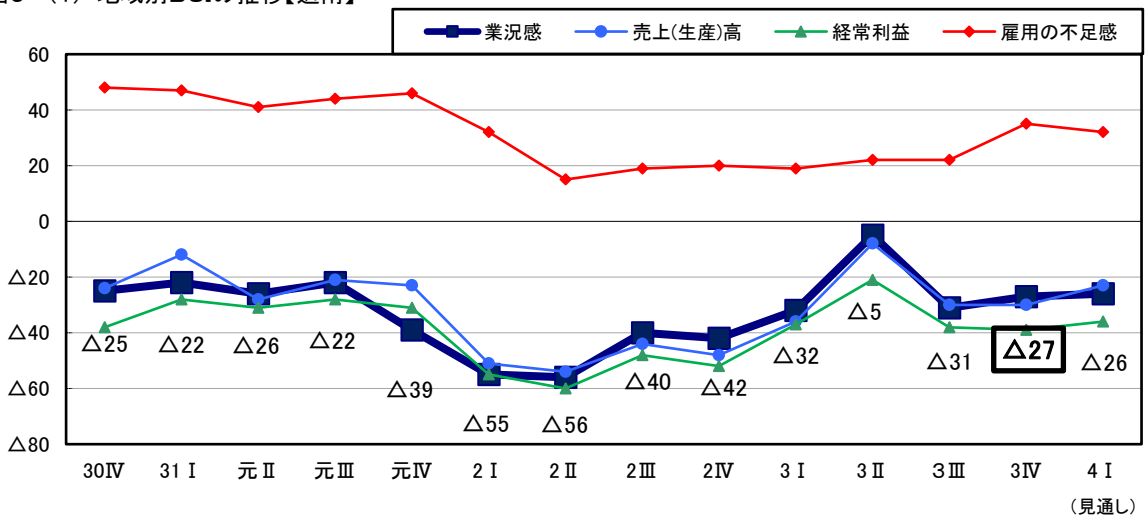


表5－(1)　地域別BSI【道南】

区　分		R3年7-9月実績BSI	R3年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 31	4	65	31	△ 27	4	4	66	30	△ 26	1
	建設業	△ 15	0	75	25	△ 25	△ 10	0	67	33	△ 33	△ 8
	製造業	△ 30	8	75	17	△ 9	21	0	82	18	△ 18	△ 9
	卸売･小売業	△ 33	7	53	40	△ 33	0	7	53	40	△ 33	0
	運輸業	△ 30	0	73	27	△ 27	3	9	64	27	△ 18	9
	サービス業	△ 38	5	57	38	△ 33	5	5	66	29	△ 24	9
売上（生産）高	全産業	△ 30	8	54	38	△ 30	0	7	63	30	△ 23	7
	建設業	△ 31	0	58	42	△ 42	△ 11	0	67	33	△ 33	9
	製造業	△ 15	25	42	33	△ 8	7	17	58	25	△ 8	0
	卸売･小売業	△ 40	13	47	40	△ 27	13	13	47	40	△ 27	0
	運輸業	△ 30	0	64	36	△ 36	△ 6	9	73	18	△ 9	27
	サービス業	△ 30	5	57	38	△ 33	△ 3	0	71	29	△ 29	4
経常利益	全産業	△ 38	6	49	45	△ 39	△ 1	6	52	42	△ 36	3
	建設業	△ 54	0	50	50	△ 50	4	0	33	67	△ 67	△ 17
	製造業	△ 39	17	50	33	△ 16	23	8	50	42	△ 34	△ 18
	卸売･小売業	△ 40	7	40	53	△ 46	△ 6	13	34	53	△ 40	6
	運輸業	△ 20	0	55	45	△ 45	△ 25	9	64	27	△ 18	27
	サービス業	△ 34	5	52	43	△ 38	△ 4	0	71	29	△ 29	9
雇用者の不足感	全産業	22	42	51	7	35	13	39	54	7	32	△ 3
	建設業	67	58	42	0	58	△ 9	58	42	0	58	0
	製造業	46	58	42	0	58	12	50	50	0	50	△ 8
	卸売･小売業	7	27	53	20	7	0	27	60	13	14	7
	運輸業	0	45	55	0	45	45	36	55	9	27	△ 18
	サービス業	7	33	57	10	23	16	33	57	10	23	0

※「売上（生産）高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。（以下、同じ。）

（２）道央

今期の業況感ＢＳＩは △ 10（前期から 12 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･各種商品小売業（0→100）、飲食料品小売業（△50→50）、
道路旅客運送業（△57→50）、持ち帰り・配達飲食サービス業（△67→33）、
その他の生活関連サービス業（△67→40）

主な下降業種･･･プラスチック製品製造業（0→△50）、生産用機械器具製造業（0→△50）、
繊維・衣服等卸売業（50→0）、通信業（△33→△100）、
映像・音声・文字情報制作業（100→0）

来期の業況感ＢＳＩは △ 8（今期から 2 ポイント上昇）

図５－(2) 地域別BSIの推移【道央】

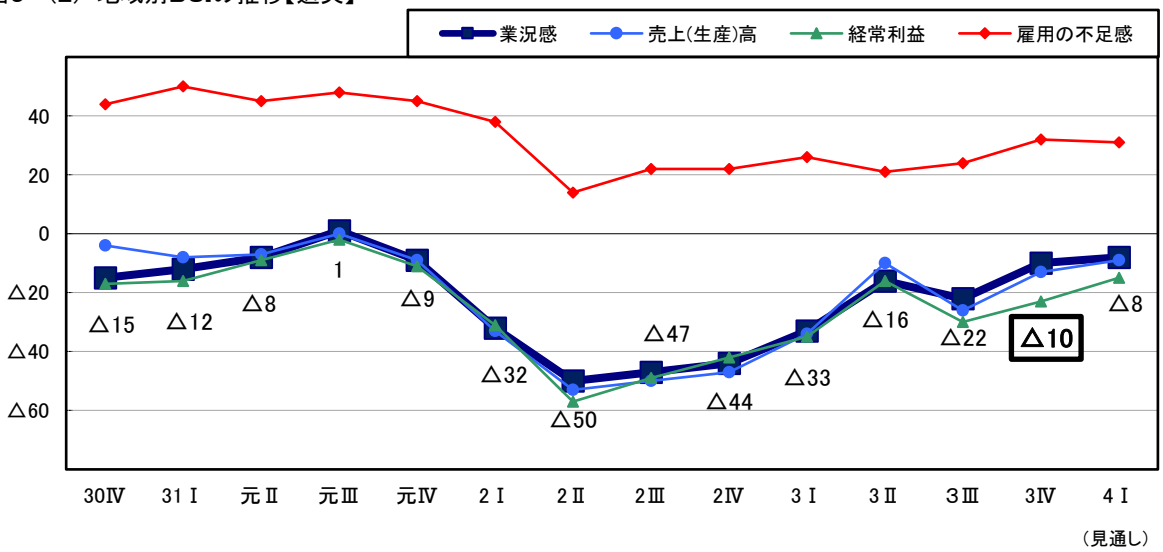


表５－(2) 地域別BSI【道央】

区 分		R3年 7-9月 実績BSI	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 22	15	60	25	△ 10	12	14	64	22	△ 8	2
	建設業	△ 13	9	59	32	△ 23	△ 10	3	82	15	△ 12	11
	製造業	△ 22	20	51	29	△ 9	13	18	55	27	△ 9	0
	卸売･小売業	△ 16	17	60	23	△ 6	10	17	58	25	△ 8	△ 2
	運輸業	△ 16	21	54	25	△ 4	12	11	64	25	△ 14	△ 10
	サービス業	△ 30	11	67	22	△ 11	19	15	65	20	△ 5	6
売上（生産）高	全産業	△ 26	18	51	31	△ 13	13	19	53	28	△ 9	4
	建設業	△ 10	15	47	38	△ 23	△ 13	12	59	29	△ 17	6
	製造業	△ 22	20	51	29	△ 9	13	24	47	29	△ 5	4
	卸売･小売業	△ 13	21	48	31	△ 10	3	19	52	29	△ 10	0
	運輸業	△ 26	25	43	32	△ 7	19	18	53	29	△ 11	△ 4
	サービス業	△ 40	15	55	30	△ 15	25	18	57	25	△ 7	8
経常利益	全産業	△ 30	15	47	38	△ 23	7	16	53	31	△ 15	8
	建設業	△ 26	18	35	47	△ 29	△ 3	9	56	35	△ 26	3
	製造業	△ 19	16	46	38	△ 22	△ 3	20	49	31	△ 11	11
	卸売･小売業	△ 23	19	50	31	△ 12	11	17	46	37	△ 20	△ 8
	運輸業	△ 42	7	36	57	△ 50	△ 8	7	61	32	△ 25	25
	サービス業	△ 35	14	53	33	△ 19	16	19	56	25	△ 6	13
雇用者の不足感	全産業	24	40	52	8	32	8	37	57	6	31	△ 1
	建設業	40	62	35	3	59	19	53	44	3	50	△ 9
	製造業	24	33	58	9	24	0	31	58	11	20	△ 4
	卸売･小売業	30	38	54	8	30	0	38	54	8	30	0
	運輸業	32	36	53	11	25	△ 7	36	64	0	36	11
	サービス業	14	38	54	8	30	16	34	60	6	28	△ 2

（２）－ ①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感ＢＳＩは △ 20（前期から９ポイント上昇）

主な上昇業種･･･飲食料品卸売業（△33→33）、各種商品小売業（0→100）、
飲食料品小売業（△75→100）、道路旅客運送業（△75→0）、
宿泊業（△85→△20）

主な下降業種･･･設備工事業（100→0）、プラスチック製品製造業（0→△100）、
生産用機械器具製造業（0→△50）、機械器具卸売業（0→△100）、
物品賃貸業（△25→△67）

来期の業況感ＢＳＩは △ 11（今期から９ポイント上昇）

図５－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

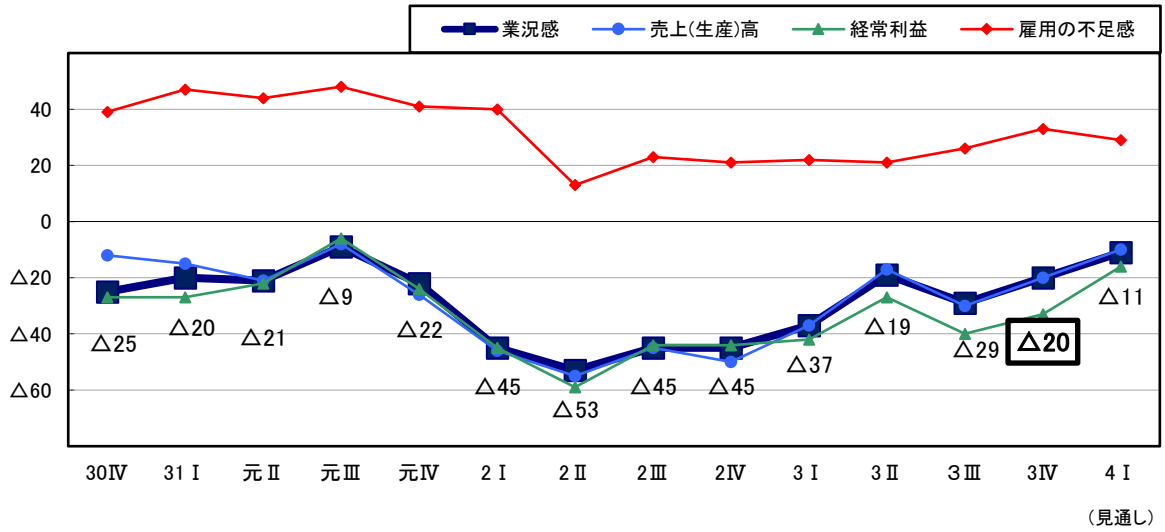


表５－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区　分		R3年7-9月実績BSI	R3年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 29	11	58	31	△ 20	9	15	59	26	△ 11	9
	建設業	△ 13	6	53	41	△ 35	△ 22	0	76	24	△ 24	11
	製造業	△ 14	11	57	32	△ 21	△ 7	18	57	25	△ 7	14
	卸売･小売業	△ 26	30	48	22	8	34	30	40	30	0	△ 8
	運輸業	△ 33	7	66	27	△ 20	13	0	67	33	△ 33	△ 13
	サービス業	△ 44	5	61	34	△ 29	15	15	63	22	△ 7	22
売上（生産）高	全産業	△ 30	14	52	34	△ 20	10	17	56	27	△ 10	10
	建設業	△ 13	12	41	47	△ 35	△ 22	12	53	35	△ 23	12
	製造業	△ 10	14	61	25	△ 11	△ 1	21	54	25	△ 4	7
	卸売･小売業	△ 22	35	39	26	9	31	26	39	35	△ 9	△ 18
	運輸業	△ 44	13	54	33	△ 20	24	7	66	27	△ 20	0
	サービス業	△ 48	2	59	39	△ 37	11	15	63	22	△ 7	30
経常利益	全産業	△ 40	10	47	43	△ 33	7	14	56	30	△ 16	17
	建設業	△ 27	24	23	53	△ 29	△ 2	6	59	35	△ 29	0
	製造業	△ 14	7	50	43	△ 36	△ 22	14	54	32	△ 18	18
	卸売･小売業	△ 37	26	52	22	4	41	26	44	30	△ 4	△ 8
	運輸業	△ 55	0	40	60	△ 60	△ 5	0	67	33	△ 33	27
	サービス業	△ 57	0	56	44	△ 44	13	15	61	24	△ 9	35
雇用者の不足感	全産業	26	40	53	7	33	7	35	59	6	29	△ 4
	建設業	40	59	35	6	53	13	47	47	6	41	△ 12
	製造業	35	36	57	7	29	△ 6	32	61	7	25	△ 4
	卸売･小売業	27	30	61	9	21	△ 6	30	66	4	26	5
	運輸業	39	33	67	0	33	△ 6	27	73	0	27	△ 6
	サービス業	9	41	49	10	31	22	39	54	7	32	1

（２）－ ②　道央（札幌市）

今期の業況感ＢＳＩは　0（前期から 15 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･窯業・土石製品製造業（△100→50）、道路旅客運送業（△33→100）、
飲食店（△100→67）、持ち帰り・配達飲食サービス業（△100→100）、
その他の生活関連サービス業（△67→40）

主な下降業種･･･生産用機械器具製造業（0→△50）、繊維・衣服等卸売業（50→0）、
通信業（△33→△100）、映像・音声・文字情報制作業（100→0）

来期の業況感ＢＳＩは △ 5（今期から 5 ポイント下降）

図5－(2)－②　地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

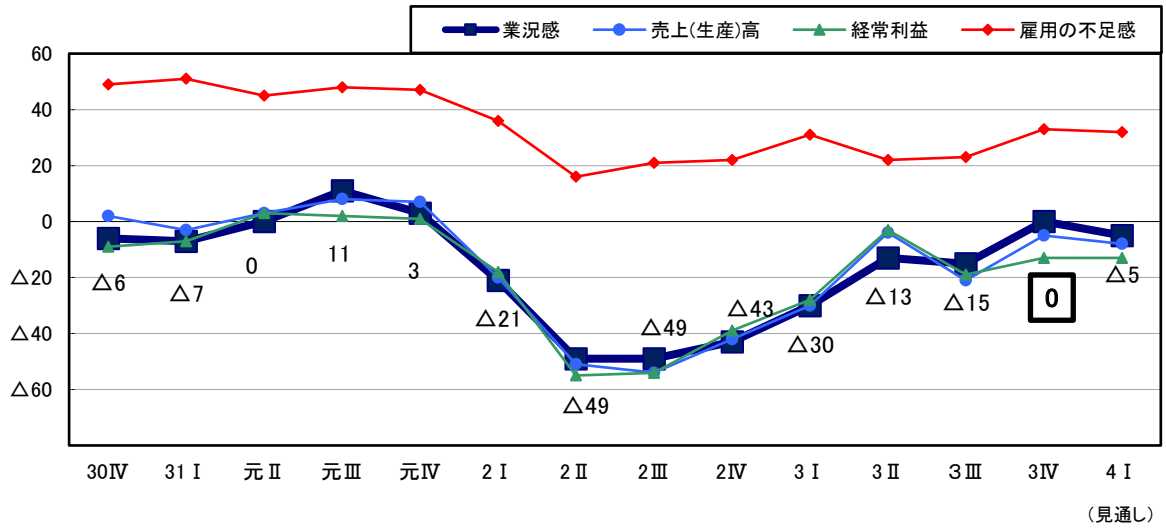


表5－(2)－②　地域別BSI【道央（札幌市）】

区　分		R3年7-9月実績BSI	R3年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 15	19	62	19	0	15	13	69	18	△ 5	△ 5
	建設業	△ 13	12	64	24	△ 12	1	6	88	6	0	12
	製造業	△ 35	35	41	24	11	46	18	53	29	△ 11	△ 22
	卸売･小売業	△ 7	7	69	24	△ 17	△ 10	7	72	21	△ 14	3
	運輸業	7	38	39	23	15	8	23	62	15	8	△ 7
	サービス業	△ 19	17	72	11	6	25	15	68	17	△ 2	△ 8
売上（生産）高	全産業	△ 21	23	49	28	△ 5	16	20	52	28	△ 8	△ 3
	建設業	△ 7	18	53	29	△ 11	△ 4	12	64	24	△ 12	△ 1
	製造業	△ 41	29	36	35	△ 6	35	29	36	35	△ 6	0
	卸売･小売業	△ 4	10	56	34	△ 24	△ 20	14	62	24	△ 10	14
	運輸業	0	38	31	31	7	7	31	38	31	0	△ 7
	サービス業	△ 33	26	53	21	5	38	21	51	28	△ 7	△ 12
経常利益	全産業	△ 19	20	47	33	△ 13	6	19	49	32	△ 13	0
	建設業	△ 27	12	47	41	△ 29	△ 2	12	53	35	△ 23	6
	製造業	△ 29	29	42	29	0	29	29	42	29	0	0
	卸売･小売業	△ 10	14	48	38	△ 24	△ 14	10	49	41	△ 31	△ 7
	運輸業	△ 23	15	31	54	△ 39	△ 16	15	54	31	△ 16	23
	サービス業	△ 18	26	51	23	3	21	23	51	26	△ 3	△ 6
雇用者の不足感	全産業	23	41	51	8	33	10	39	54	7	32	△ 1
	建設業	40	65	35	0	65	25	59	41	0	59	△ 6
	製造業	6	29	59	12	17	11	29	53	18	11	△ 6
	卸売･小売業	33	45	48	7	38	5	45	45	10	35	△ 3
	運輸業	23	38	39	23	15	△ 8	46	54	0	46	31
	サービス業	18	34	60	6	28	10	30	66	4	26	△ 2

（３）道北

今期の業況感ＢＳＩは △ 23（前期から４ポイント下降）

主な上昇業種･･･設備工事業（△50→0）、繊維・衣服等卸売業（△100→△50）、
その他の卸売業（△100→0）、情報サービス業（△50→0）、
洗濯・理容・美容・浴場業（△100→△50）、自動車整備業（△67→0）

主な下降業種･･･機械器具小売業（25→△100）、道路貨物運送業（△29→△71）、
娯楽業（50→△50）、その他の事業サービス（0→△50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 18（今期から５ポイント上昇）

図５－(3) 地域別BSIの推移【道北】

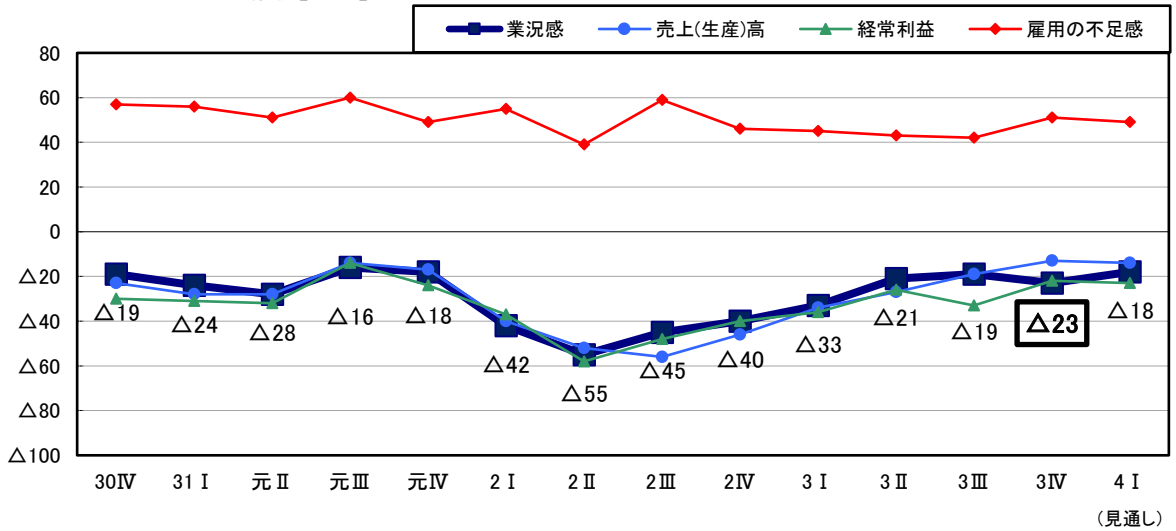


表５－(5) 地域別BSI(道北)

区 分		R3年7-9月実績BSI	R3年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 19	13	51	36	△ 23	△ 4	9	64	27	△ 18	5
	建設業	0	6	75	19	△ 13	△ 13	0	87	13	△ 13	0
	製造業	12	31	50	19	12	0	13	60	27	△ 14	△ 26
	卸売･小売業	△ 17	20	47	33	△ 13	4	7	66	27	△ 20	△ 7
	運輸業	△ 20	7	43	50	△ 43	△ 23	7	57	36	△ 29	14
	サービス業	△ 48	7	45	48	△ 41	7	14	55	31	△ 17	24
売上（生産）高	全産業	△ 19	21	45	34	△ 13	6	13	60	27	△ 14	△ 1
	建設業	△ 14	13	74	13	0	14	0	75	25	△ 25	△ 25
	製造業	19	44	25	31	13	△ 6	19	56	25	△ 6	△ 19
	卸売･小売業	△ 17	20	53	27	△ 7	10	14	65	21	△ 7	0
	運輸業	△ 30	14	43	43	△ 29	1	7	72	21	△ 14	15
	サービス業	△ 41	18	36	46	△ 28	13	18	46	36	△ 18	10
経常利益	全産業	△ 33	24	30	46	△ 22	11	13	51	36	△ 23	△ 1
	建設業	△ 43	31	38	31	0	43	13	56	31	△ 18	△ 18
	製造業	0	44	18	38	6	6	13	43	44	△ 31	△ 37
	卸売･小売業	△ 23	20	40	40	△ 20	3	7	72	21	△ 14	6
	運輸業	△ 50	21	29	50	△ 29	21	14	43	43	△ 29	0
	サービス業	△ 48	11	28	61	△ 50	△ 2	14	47	39	△ 25	25
雇用者の不足感	全産業	42	56	39	5	51	9	52	45	3	49	△ 2
	建設業	64	69	31	0	69	5	63	31	6	57	△ 12
	製造業	50	75	25	0	75	25	56	44	0	56	△ 19
	卸売･小売業	27	27	73	0	27	0	29	71	0	29	2
	運輸業	50	64	36	0	64	14	64	36	0	64	0
	サービス業	32	48	37	15	33	1	48	45	7	41	8

（４）オホーツク

今期の業況感ＢＳＩは △ 16（前期から 17 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･木材・木製品製造業（0→100）、生産用機械器具製造業（△100→0）、
その他の製造業（△100→0）、道路旅客運送業（△100→△20）、
その他の生活関連サービス業（△100→100）、

主な下降業種･･･建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→△67）、機械器具小売業（0→△100）、
その他の小売業（0→△100）、飲食店（50→△50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 24（今期から 8 ポイント下降）

図５－(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

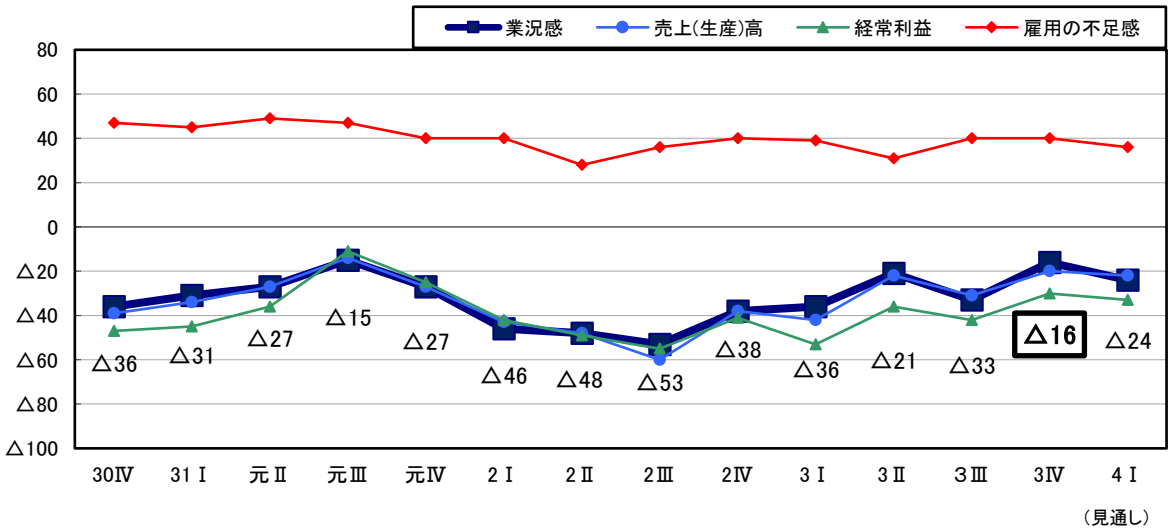


表５－(6) 地域別BSI(オホーツク)

区 分		R3年 7-9月 実績BSI	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 33	17	50	33	△ 16	17	8	60	32	△ 24	△ 8
	建設業	△ 30	8	75	17	△ 9	21	0	58	42	△ 42	△ 33
	製造業	△ 30	33	42	25	8	38	8	42	50	△ 42	△ 50
	卸売･小売業	0	9	36	55	△ 46	△ 46	0	64	36	△ 36	10
	運輸業	△ 73	22	34	44	△ 22	51	22	45	33	△ 11	11
	サービス業	△ 29	13	56	31	△ 18	11	13	81	6	7	25
売上（生産）高	全産業	△ 31	18	44	38	△ 20	11	13	52	35	△ 22	△ 2
	建設業	△ 40	8	50	42	△ 34	6	0	58	42	△ 42	△ 8
	製造業	△ 20	33	34	33	0	20	17	25	58	△ 41	△ 41
	卸売･小売業	20	27	37	36	△ 9	△ 29	18	37	45	△ 27	△ 18
	運輸業	△ 73	11	33	56	△ 45	28	22	56	22	0	45
	サービス業	△ 36	13	56	31	△ 18	18	13	74	13	0	18
経常利益	全産業	△ 42	13	44	43	△ 30	12	5	57	38	△ 33	△ 3
	建設業	△ 70	0	50	50	△ 50	20	0	50	50	△ 50	0
	製造業	△ 20	33	34	33	0	20	8	34	58	△ 50	△ 50
	卸売･小売業	△ 10	18	37	45	△ 27	△ 17	0	55	45	△ 45	△ 18
	運輸業	△ 73	11	33	56	△ 45	28	11	67	22	△ 11	34
	サービス業	△ 36	6	56	38	△ 32	4	6	75	19	△ 13	19
雇用者の不足感	全産業	40	43	54	3	40	0	38	60	2	36	△ 4
	建設業	70	83	17	0	83	13	83	17	0	83	0
	製造業	30	33	67	0	33	3	33	67	0	33	0
	卸売･小売業	30	9	82	9	0	△ 30	9	82	9	0	0
	運輸業	27	67	33	0	67	40	56	44	0	56	△ 11
	サービス業	43	31	63	6	25	△ 18	19	81	0	19	△ 6

（５）十勝

今期の業況感ＢＳＩは △ 9（前期から 29 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･金属製品製造業（△100→0）、各種商品小売業（△100→100）、
専門サービス業（△100→0）

主な下降業種･･･その他の小売業（△50→△100）、放送業（100→△100）、
自動車整備業（100→0）

来期の業況感ＢＳＩは △ 3（今期から 6 ポイント上昇）

図５－(5) 地域別BSIの推移【十勝】

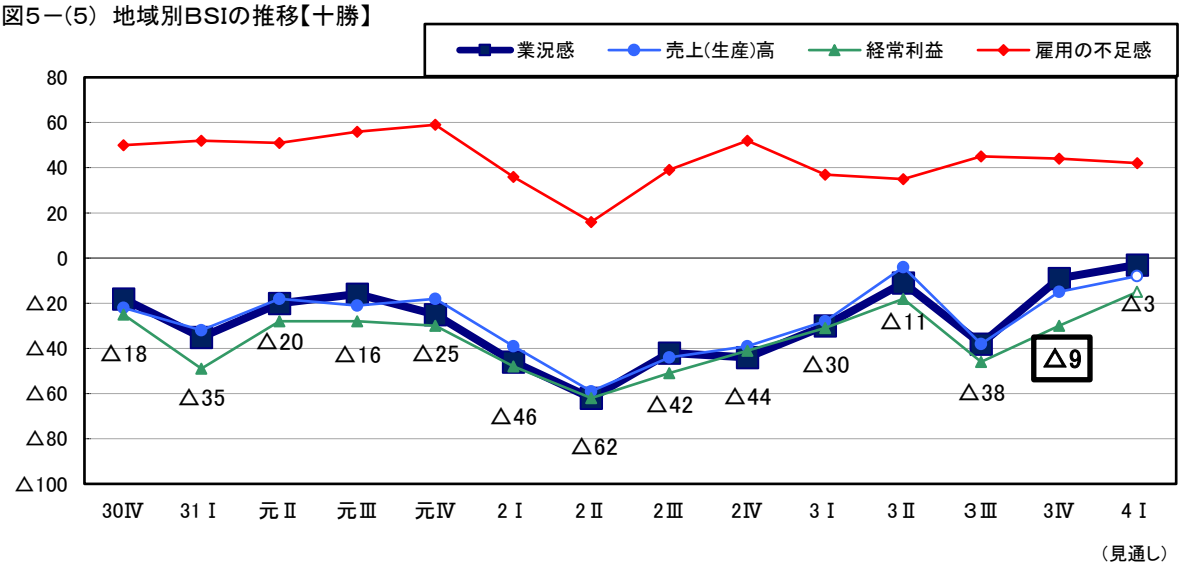


表５－(7) 地域別BSI(十勝)

区 分		R3年 7-9月 実績BSI	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 38	15	61	24	△ 9	29	16	65	19	△ 3	6
	建設業	△ 18	11	89	0	11	29	11	78	11	0	△ 11
	製造業	△ 46	27	55	18	9	55	30	60	10	20	11
	卸売･小売業	△ 45	25	42	33	△ 8	37	17	50	33	△ 16	△ 8
	運輸業	△ 42	8	67	25	△ 17	25	8	67	25	△ 17	0
	サービス業	△ 35	7	60	33	△ 26	9	13	74	13	0	26
売上（生産）高	全産業	△ 38	17	51	32	△ 15	23	16	60	24	△ 8	7
	建設業	△ 18	22	67	11	11	29	0	67	33	△ 33	△ 44
	製造業	△ 55	27	46	27	0	55	30	60	10	20	20
	卸売･小売業	△ 55	25	25	50	△ 25	30	17	41	42	△ 25	0
	運輸業	△ 42	8	59	33	△ 25	17	8	67	25	△ 17	8
	サービス業	△ 28	7	60	33	△ 26	2	20	67	13	7	33
経常利益	全産業	△ 46	14	42	44	△ 30	16	16	53	31	△ 15	15
	建設業	△ 36	0	56	44	△ 44	△ 8	0	56	44	△ 44	0
	製造業	△ 55	18	55	27	△ 9	46	30	50	20	10	19
	卸売･小売業	△ 46	33	17	50	△ 17	29	17	50	33	△ 16	1
	運輸業	△ 50	8	34	58	△ 50	0	8	59	33	△ 25	25
	サービス業	△ 44	7	53	40	△ 33	11	20	53	27	△ 7	26
雇用者の不足感	全産業	45	51	42	7	44	△ 1	45	52	3	42	△ 2
	建設業	64	56	44	0	56	△ 8	44	56	0	44	△ 12
	製造業	36	27	73	0	27	△ 9	20	80	0	20	△ 7
	卸売･小売業	55	58	25	17	41	△ 14	50	33	17	33	△ 8
	運輸業	58	83	17	0	83	25	75	25	0	75	△ 8
	サービス業	23	33	54	13	20	△ 3	33	67	0	33	13

（６）釧路・根室

今期の業況感ＢＳＩは △ 15（前期から 14 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･輸送用機械器具製造業（△50→0）、道路旅客運送業（△50→33）、
宿泊業（△34→67）、飲食店（△50→0）、
自動車整備業（△50→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（0→△50）、機械器具卸売業（100→0）、
道路貨物運送業（△33→△75）、
洗濯・理容・美容・浴場業（△50→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 24（今期から 9 ポイント下降）

図５－(6) 地域別BSIの推移【釧路･根室】

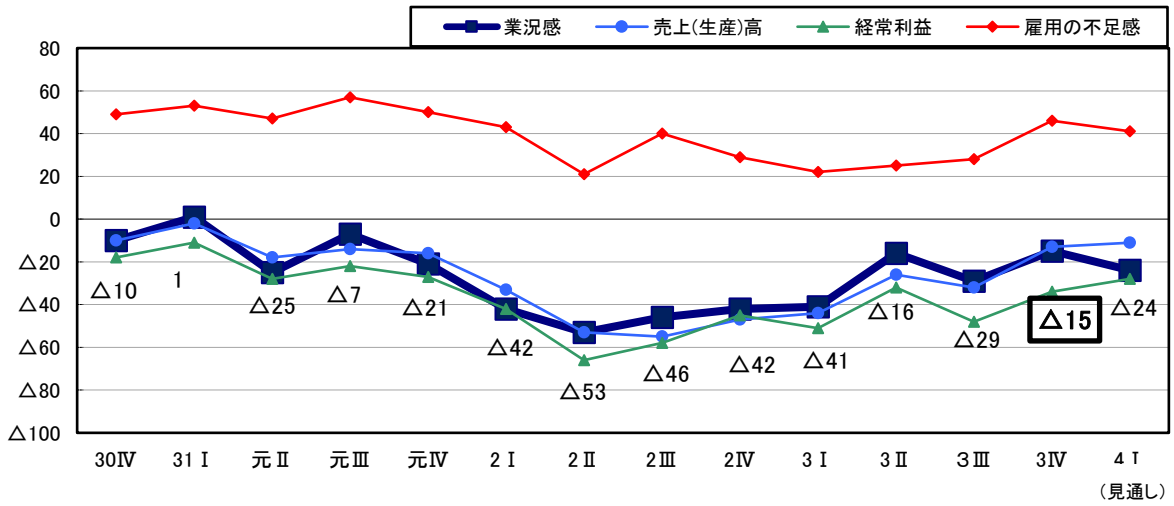


表５－(8) 地域別BSI(釧路･根室)

区 分		R3年7-9月実績BSI	R3年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 29	9	67	24	△ 15	14	6	64	30	△ 24	△ 9
	建設業	△ 36	0	73	27	△ 27	9	0	64	36	△ 36	△ 9
	製造業	△ 25	9	55	36	△ 27	△ 2	9	64	27	△ 18	9
	卸売･小売業	△ 18	0	86	14	△ 14	4	0	71	29	△ 29	△ 15
	運輸業	△ 30	9	64	27	△ 18	12	9	55	36	△ 27	△ 9
	サービス業	△ 34	21	65	14	7	41	7	72	21	△ 14	△ 21
売上（生産）高	全産業	△ 32	13	61	26	△ 13	19	13	63	24	△ 11	2
	建設業	△ 55	0	64	36	△ 36	19	9	55	36	△ 27	9
	製造業	△ 25	9	55	36	△ 27	△ 2	27	73	0	27	54
	卸売･小売業	△ 18	0	86	14	△ 14	4	0	57	43	△ 43	△ 29
	運輸業	△ 31	18	55	27	△ 9	22	9	64	27	△ 18	△ 9
	サービス業	△ 34	29	57	14	15	49	14	65	21	△ 7	△ 22
経常利益	全産業	△ 48	7	52	41	△ 34	14	7	58	35	△ 28	6
	建設業	△ 45	0	45	55	△ 55	△ 10	9	55	36	△ 27	28
	製造業	△ 67	0	27	73	△ 73	△ 6	9	46	45	△ 36	37
	卸売･小売業	△ 36	0	71	29	△ 29	7	0	57	43	△ 43	△ 14
	運輸業	△ 54	9	55	36	△ 27	27	9	55	36	△ 27	0
	サービス業	△ 40	21	65	14	7	47	7	72	21	△ 14	△ 21
雇用者の不足感	全産業	28	46	54	0	46	18	41	59	0	41	△ 5
	建設業	27	45	55	0	45	18	55	45	0	55	10
	製造業	16	64	36	0	64	48	45	55	0	45	△ 19
	卸売･小売業	18	43	57	0	43	25	14	86	0	14	△ 29
	運輸業	38	27	73	0	27	△ 11	36	64	0	36	9
	サービス業	36	50	50	0	50	14	43	57	0	43	△ 7

６　道内の景況感

今期の道内の景況感ＢＳＩは △ 13（前期から 28 ポイント上昇）

・業種別、地域別ともに、全ての業種、地域でマイナス幅が縮小

来期の道内の景況感ＢＳＩは △ 16（今期から 3 ポイント下降）

図6　道内の景況感

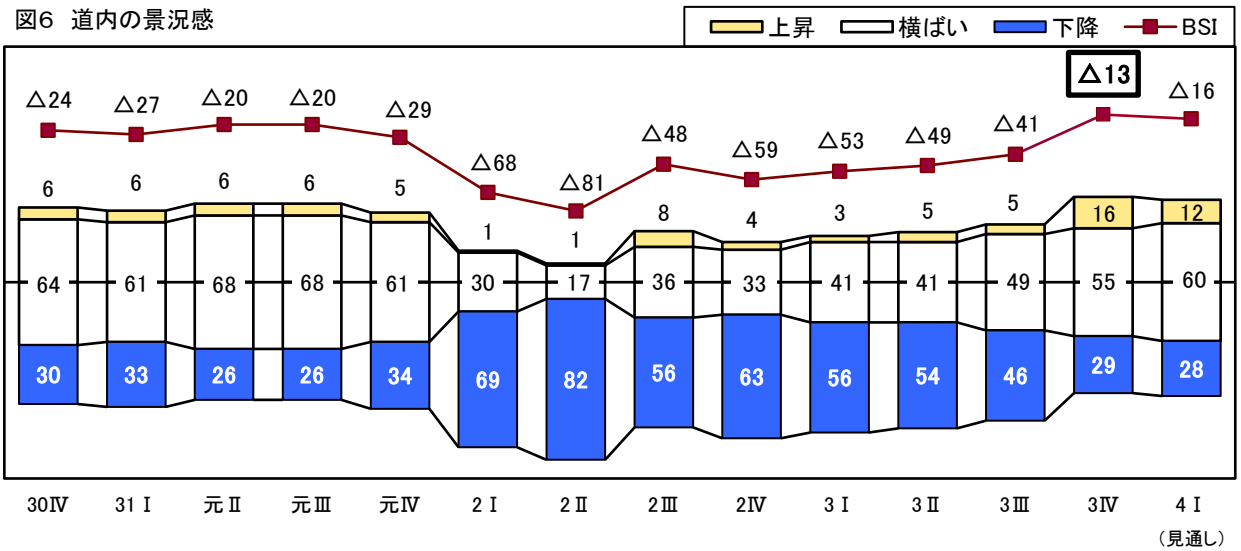


表6　道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年7-9月実績	R3年10-12月実績					R4年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 41	16	55	29	△ 13	28	12	60	28	△ 16	△ 3
	札幌市を除く	△ 45	14	55	31	△ 17	28	11	59	30	△ 19	△ 2
	札幌市	△ 31	21	59	20	1	32	14	66	20	△ 6	△ 7
業種	建設業	△ 38	10	67	23	△ 13	25	9	63	28	△ 19	△ 6
	製造業	△ 39	21	52	27	△ 6	33	11	61	28	△ 17	△ 11
	卸売･小売業	△ 38	15	55	30	△ 15	23	14	57	29	△ 15	0
	運輸業	△ 45	20	48	32	△ 12	33	13	56	31	△ 18	△ 6
	サービス業	△ 46	14	56	30	△ 16	30	12	63	25	△ 13	3
資本金	5千万円未満	△ 47	13	53	34	△ 21	26	10	58	32	△ 22	△ 1
	5千万以上～1億円未満	△ 37	18	59	23	△ 5	32	17	60	23	△ 6	△ 1
	1億円以上	△ 21	21	64	15	6	27	14	72	14	0	△ 6
地域	道南	△ 46	13	59	28	△ 15	31	7	59	34	△ 27	△ 12
	道央	△ 36	17	57	26	△ 9	27	14	64	22	△ 8	1
	札幌市を除く	△ 40	14	55	31	△ 17	23	14	61	25	△ 11	6
	札幌市	△ 31	21	59	20	1	32	14	66	20	△ 6	△ 7
	道北	△ 50	13	44	43	△ 30	20	11	56	33	△ 22	8
	オホーツク	△ 42	17	55	28	△ 11	31	13	50	37	△ 24	△ 13
	十勝	△ 53	14	67	19	△ 5	48	11	60	29	△ 18	△ 13
	釧路･根室	△ 39	15	55	30	△ 15	24	11	65	24	△ 13	2

7　業種･圏域別企業経営者の声（令和3年 10-12 月）

【建設業】

道南	・コロナ後の税金負担がどの程度になるか、若干心配な部分があります。会社としての負担だけでなく、個人負担が賃上げより多くなることを懸念しています。（一般土木建築工事業） ・建設事業需要の掘り起こしを望む。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・経営陣や従業員の高齢化により、経営の先が読めない。（一般土木建築工事業） ・来年は公共工事が、減少傾向になるとの情報があります。国土強靭化が叫ばれていますが、動きが遅いように感じられます。道からも国に働きかけをして欲しいです。また、道にも公共工事の発注増を期待します。（土木工事業（舗装工事業を除く））
道央	・新型コロナウイルスの影響で経営の先が見えず、第６波等に備える手立てを探る日々のため、設備更新にも慎重にならざるを得ません。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・住宅業界はウッドショックにより、原材料が異常な価格となっていますが、当社はすぐに価格転嫁をするのではなく、一旦全て当社負担とし、価格が落ち着いてからの価格改定を考えています。（建築工事業） ・建設業、特に建築一式工事業は受注不振により業況が悪化しています。道からも地方自治体等へ公共工事の促進等の働きかけをして欲しい。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・建設業界は、特に民間工事において、コロナ禍による工事中止や設計業務の延期・停止等により、工事受注の減少が続いているように思われます。また、就業者の高齢化や若年層の不足による将来の担い手問題を解消するため、休日の確保や処遇改善など、様々な課題が山積しております。（総合建設業）
道北	・工事受注後に原材料の高騰が起きるため、設計価格の見直しが間に合っていない。（一般土木建築工事業） ・建設業では、石油関連の価格上昇やコロナの影響による資材調達の遅れ、労働力不足による工事期間の長期化が発生しています。来年度もこれらの要因は大きく影響してくると考えます。特に公共工事では、入札後の価格変動、資材調達遅れなどによる状況の変化に対して、適切な対応策を講じていただきたいです。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・技術者の人材確保が厳しい。（土木工事業）
オホーツク	・消費税の減税または廃止を望む。（木造建築工事業） ・働き方改革による労働時間の減少により、生産性が著しく低下し、慢性的な人手不足と経費の増幅が経営に影響を与えている。建設業でもＤＸが推進されているが、現時点では生産性の向上にむけた模索の段階であり、業界的に業績悪化の傾向が予想される。（土木工事業（舗装工事業を除く））
十勝	・３回目のワクチン接種開始について、早期に情報を開示して欲しい。また、職域接種の規模（総数）を小さくすることで、企業ごと（家族を含む）の接種を促進させ、企業活動への影響を最小限にして欲しい。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・本道の発展・成長に不可欠なインフラ整備・維持管理を着実に推進できるよう、北海道開発予算等公共事業費の確保に全力で取り組んで欲しい。（一般土木建築工事業）
釧路・根室	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で、業界にどの様な影響が出るのかの判断が難しく、設備投資が積極的に出来ないため、業務の改善が進まない。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・新型コロナウイルスのまん延による直接的な影響は少なく、公共工事による一定額の受注はあるものの、民間の投資意欲が減退し、大口受注が極端に減少したため、間接的に大きな影響を受ける結果となっています。景気マインドが上昇し、民間事業者が積極的に投資をしたくなる環境が整えば良いと思っております。（一般土木建築工事業）

【製造業】

道央	・売上が低迷し、利益の確保が難しいため、借入金が増加している。加えて人材確保が困難状況であり、課題が多い。（農業用機械製造業（農業用器具を除く）） ・まずは冬季五輪誘致を成し遂げてください。2030 年以降の中長期的な経済展望を見据えた上で、今から経済対策をしっかり策定してもらいたい。人口減に歯止めをかける行政的な支援を行っていって欲しい。（生コンクリート製造業） ・地域社会全体の低迷が課題。助成金の拡充を期待する。 （プラスチック・管・継手・容器（ポリエチレン）、シューズパット） ・鋼材等原材料価格が上昇し続けており、価格の安定化に尽力していただきたい。また輸入品の納期が定まらない状況であるため、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつも、流通が滞ることがないようにしていただきたい。（自動車・同附属品製造業） ・弊社の取扱商品は道内向けではないので、道内の景況には影響されないが、目先の受注見通しは芳しいものではなくなりつつあり、それに伴い、従業員の不足感はなくなってきているが、この状況が長く続いた場合、雇用の維持を図ることも容易ではなくなるのではないかと危惧している。行政に対しては、先々の雇用維持に対する対策を講じていただければと思います。 （外衣・シャツ製造業（和式を除く）） ・商品・原材料不足が課題。（発電用・送電用・配電用電気機械器具製造業） ・経営的に直面している課題としては、10 月以降、半導体不足による自動車メーカの生産調整によって、弊社製品の出荷が抑えられ、結果的に在庫過多となっている。足下の自動車生産の再開に伴い、需給も回復の兆しが見えてきていることは良い知らせではあるものの、収益に大きく波が生じており、調整に苦慮しているのが現状である。このため、政府が提案している賃金アップへの対応については、なかなか見通しを付けるのが難しい状況でもある。 （製鋼を行わない鋼材製造業（表面処理鋼材を除く）） ・事業継続力強化計画を策定したものの、コロナが長引くと経費負担が重荷となり、策定変更や中止も考慮しなければならない状況です。（金属用金型・同部分品・附属品製造業） ・デジタル化など大企業が取り入れている良い点を、中小企業にどう普及させていくのか検討し、支援して欲しい。（一般産業用機械・装置製造業）
オホーツク	・人材確保が困難です。設備資金の助成金についての情報発信を積極的にお願いします。 （看板・標識機製造業）
十勝	・前年度の営業実績で大幅な減少を計上した。売上減少の中でも企業利益の確保を図るため、今期は実績の回復に努めたい。（建設用・建築用金属製品製造業（製缶板金業を含む））

【卸売・小売業】

道南	・コロナ終息に向けた堅実な判断を期待します。海外での感染の終息が見えない状況下で、安易に外国人材の流入やインバウンド需要の喚起等、目先の判断で行うことのないよう期待します。（自動車（新車）小売業） ・コロナの検査を迅速に出来るようして欲しい。身近に受けられる環境が整っていれば、安心してお客様に来ていただけるのではと思う。（婦人・子供服小売業） ・事業承継が課題です。（その他の織物・衣服・身の回り品小売業）
道央	・商品の値上げ、不足がいつまで続くのか不安です。（建築材料卸売業） ・当社の様な小企業と仕入先のメーカー、商社等の大企業の価格設定力・交渉力には大きな差があり、その結果、販売価格に適正利益を確保出来ていない。（衣服卸売業） ・最低賃金が毎年上がることで、人件費が経営を大きく圧迫している。商品単価に転嫁することも出来ず、八方塞がりな状態です。物価の上昇の誘導策を期待します。（菓子・パン小売業） ・最近は感染者が激減しているので、以前の経営状況を取り戻すため、経済の再生と第６波に備えての病床確保を期待したい。難しいと思うが、規制緩和と消費誘導が必要ではないか。（医薬品・化粧品小売業） ・３回目ワクチン接種の加速とともに、第６波の感染拡大開始時には早期に厳しい制限喚起をお願いします。（建築材料，鉱物・金属材料等卸売業）
道北	・販路拡大に活用できるデジタルツールの講習会及び個別指導等への支援や助成を期待する。事業者が希望する販売ツールや経営管理のノウハウを習得できれば、ハード面の支援は必要であるが、やる気のある事業者は自身でデジタル化に対応できると思われる。現在は資金のある事業者が独自で取り組んでいる一方、資金の無い事業者は取り残されたままとなっているか、業者に依存して凌いでいる状態である。（その他の飲食料品小売業） ・建築資材の不足や価格高騰によって、この先建主が減少し、業界全体が冷え込むことが危惧されるので、安定した資材の供給や融資の増枠等の対策を期待する。（建築材料卸売業） ・コロナに感染した際の拘束期間を短縮できるような策を期待する。（食肉卸売業） ・紙卸業としては、なんでもデジタル化という動きには反対です。（その他の卸売業） ・今年度は国産・輸入品とも畜産品全ての価格が高騰しているが、価格転嫁ができていない。次年度からは業者の理解をいただきながら、適正価格で値上げをしていきたい。今年度は３連休が多いため、旅行客を含めた人の往来の回復を期待したい。（飲食料品卸売業）
オホーツク	・弊社は地方の町の中小企業ですが、町の人口が減少しており、コロナの影響で売上も減少しましたが、従業員も減少しました。経済が回復したとしても、現状の体制で今まで通り生産性を維持することは難しいと思います。（野菜・青果卸売業） ・人材の確保が課題。特に営業職の若手人材が不足している。（産業機械器具卸売業）
十勝	・人材不足に苦労しています。最低賃金は上がる一方、教えたこと以外は、考えて行動・判断できない、仕事ができない人が増えています。教育に問題があるのではないかと思ってしまいます。企業はどうしたらよいのでしょうか。（自動車小売業）

【運輸業】

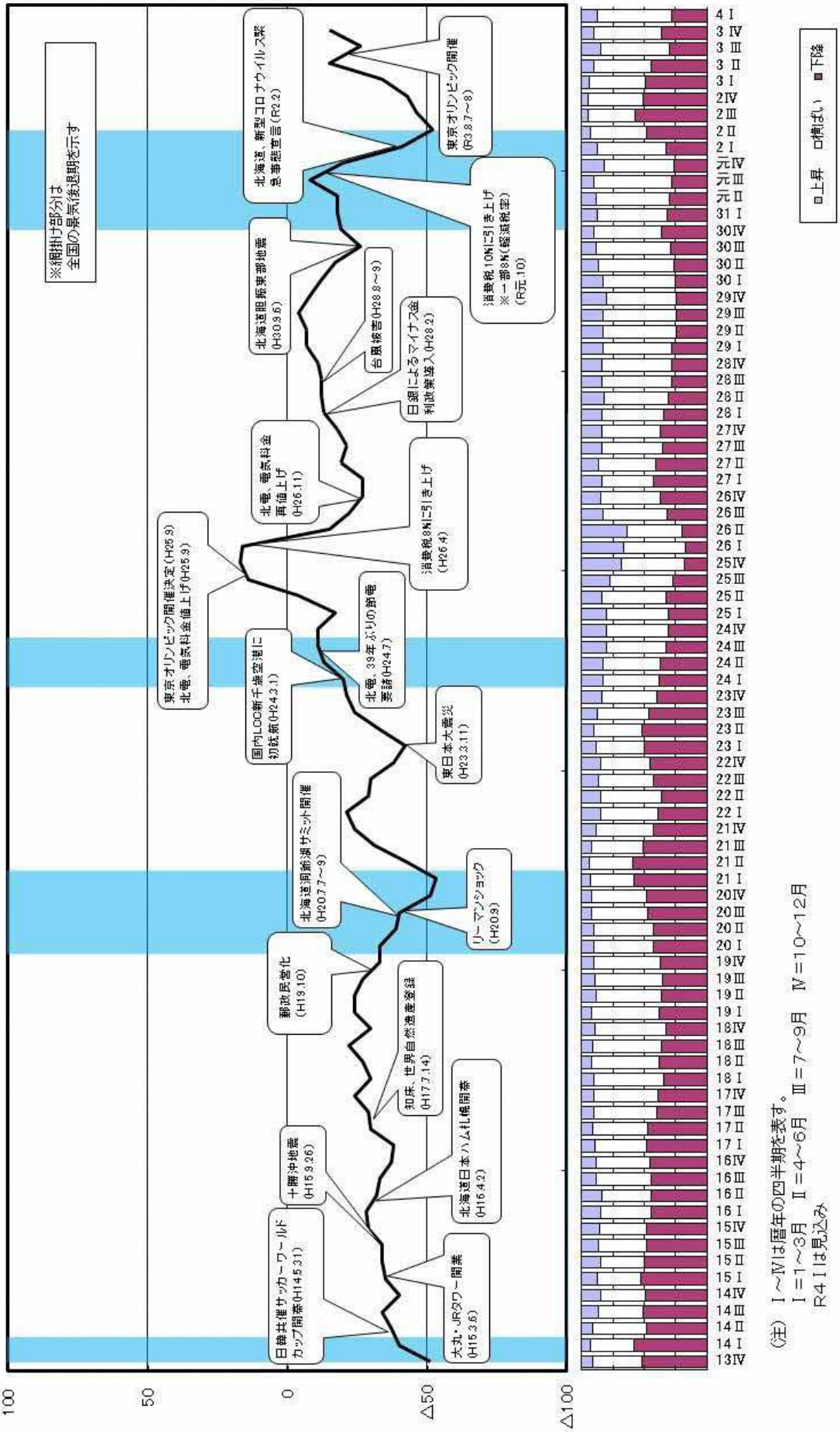
道南	・旅行者は増えていますが、バスへの乗車率は低いため、バスは安全な乗り物だということをもっと告知していただきたいです。（一般乗合旅客自動車運送業） ・コロナ渦の影響で売上がダウンし、手持ち資金がどんどん減っているが、身を削ってでも頑張っていきたい。（一般貨物自動車運送業）
道央	・景気が回復していない状況下で、10 月からの最低賃金の上昇、デジタル化を推進する一方で、従業員を 70 歳まで雇用しなければならなくするなど、政策が矛盾しているように思えてならない。若年層の雇用義務など、これからの世代のための対策であれば理解できるので、未来を考えた政策を行って欲しいです。（一般貨物自動車運送業） ・軽油引取税の暫定税率廃止を行ってほしい。暫定とは名ばかりで恒久税率になっている。国民生活を潤すことから始めて経済を活性化させた上で増税を行うなど、１千兆円ともいわれる個人資産を循環させ、国を豊かにする方策を考えて欲しい。（一般貨物自動車運送業） ・コロナの影響が大きすぎて、どのように対策を行えば良いのか理解できないので、教えていただきたい。（特定貨物自動車運送業） ・当社の場合、燃料高騰の影響が大きく、売上が回復しても利益に相当影響を及ぼします。売上増＝軽油費増となります。極端に価格が上昇した場合は、軽油引取税の軽減等を考慮して頂けないでしょうか。コロナ支援策としての現金給付や助成金の支給以外に、減税もひとつのコロナ救済政策ではと思います。（一般貸切旅客自動車運送業） ・コロナ第６波が迫る中、世界規模でコロナを収束させる必要性を感じます。先進国だけワクチンを接種して一時的に感染を抑えても、今回の様に発展途上国で変異した株が先進国に逆流し、またコロナ禍が再燃するというシナリオから、一日でも早く脱却出来ることを願うばかりです。 （倉庫業、運送業）
道北	・地域経済を支える持続的な公共交通を維持するためには、乗合事業者に対して、コロナ落込み分への実質的な支援金が必要です。（一般乗合旅客自動車運送事業）
オホーツク	・新型コロナウイルス感染症の影響による借入金について、返済金の減免対策などを検討していただきたい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・弊社は、大型ミルクローリーによる生乳の集荷配送を主な業務としておりますが、人口２万人台の地方都市では大型免許取得者の絶対数が少なく、運転手は常に不足している状況で、従業員の高齢化も進んでいます。弊社経営陣が創意工夫し、安定した魅力ある職場となるよう努力することが最も重要なことと認識しておりますが、行政の皆様には、中小企業を生かすべく、人材確保のための有効な施策や助成制度等を期待しております。（一般貨物自動車運送業）
十勝	・原油価格の高騰が経営を圧迫している。（一般貨物自動車運送業） ・即戦力の人手が足りない。新人を教育する余裕も無い。（一般貨物自動車運送業）
釧路・根室	・弊社の業務は物流を主としておりますので、現状では直接的な支援や補助金制度は利用することができておりません。そのため、間接的な対策、例えば法人税や消費税の中間申告の理由なし追徴なしでの長期猶予や、コロナ以前と比較して売上が極度に落ちている場合は、節約やリストラでの結果として決算上は黒字が出ても、法人税を減税する等の支援があると大変ありがたく思います。新型コロナがこのまま収束することを望んでおりますが、第６波といわれる感染拡大が発生し、次年度にも影響が続くようであれば、会社規模の見直しと人員の削減等を進め、発展的縮小を考えております。（一般貨物自動車運送業） ・様々な施策が講じられているが、燃料費の高騰により経営が圧迫されている状況なので、一時的に軽油取引税等、油に関しての税の一時執行停止を願う。業界に支給されている交付税を廃止することで、予算の捻出は可能なのではないか。（一般貨物自動車運送業）

【サービス業】

道南	・人の移動を伴う企業活動の減少やテレワークの普及により出張が減少し、経営悪化に歯止めがかからない状況になっているため、地域の活性化政策が重要性を増しています。空室も目立ってきており、悪循環に陥っている状況です。（電気通信に附帯するサービス業） ・コロナの売上減少により借入をした運転資金の返済が年明けから開始となるが、長引くコロナの影響で売上が戻っていないため、返済猶予についての法的な施策を望む。（旅館、ホテル） ・人出不足解消のために最低賃金を引き上げても、物価の高騰等により生活水準が実感として上がっていないので、消費税を下げる等、老若男女を問わず恩恵を受けられる施策を先に実行すべきではないかと思っています。（旅館、ホテル） ・道民割の延長及びアフターコロナに向けた設備改装等の助成金の拡充を期待する。（旅館、ホテル） ・コロナによる価格高騰、高齢化による高齢者不足が課題です。（自動車整備業）
道央	・経営が苦しいです。（配達飲食サービス業） ・行政が外出や夜の飲食を促して欲しい。（酒場，ビヤホール） ・観光業が北海道の経済再生、地域再生を牽引できるよう頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。（旅館，ホテル） ・タクシー運転手の確保が困難です。（自動車整備業） ・雇用の流動化の促進を望む。（機械修理業（電気機械器具を除く）） ・若い中小企業経営者はデジタル化に積極的ではあるが、具体的な方策に悩んでいると思われるので、デジタル化に向けた啓蒙活動と支援策をお願いしたい。（ソフトウェア業） ・道内での大型イベント等の開催縮小の影響で、ビジネス利用以外のインバウンドや本州などからの観光客が皆無な状況です。少ない需要を取り合うため、販売価格の下落に歯止めがかかりません。ＧｏＴｏトラベル等の支援策を早急にお願いしたいと思います。（旅館，ホテル） ・観光業等の復活のための支援等を希望します。（自動車整備業） ・来年夏以降の旅行需要喚起策を期待する。（旅行業） ・人手不足のため、２月から店を縮小することになりました。（美容業） ・コロナ後の経済復興や個人消費の拡大に向けて、人流や物流が速やかに戻るような「北海道」のＰＲの継続、体制の強化をお願いします。（産業用機械器具賃貸業） ・新しい働き方に対する道の率先した導入及び情報提供を望む。（広告業） ・経営資金の無利子融資をお願いしたい。（普通洗濯業） ・肉の価格が高騰し、困っています。（焼肉店）
道北	・コロナによる売上減に対する支援、原油高に対する支援及び人流の活性化策を期待する。（普通洗濯業） ・ブースター接種への備え、検査体制の拡充、継続した感染拡大防止活動の推進及び現実に即した医療体制の構築について、国と連携して進めることで、今後の感染再拡大防止と収束に努めていただきたい。社会・経済活動が止まることのないようお願いしたい。（旅館，ホテル） ・いつもご支援ありがとうございます。デジタル化に向けて取り組んでおりますが、書類への押印の有無が混在しており、業務の簡素化を妨げているため、押印の有無を明示していただきたい。また、行政の各種支援の担当事務局の連絡先がわかりにくく、中にはメールのみの窓口もあるため、回答待ちの期間が長くなっています。業務を円滑に進めるために改善をお願いします。（旅館，ホテル） ・離島のためリモートやテレワークはできない。観光客が減少し、前々年売り上げの２割程度になっているため、支援金をお願いしたい。（宿泊業）

オホーツク	・弊社では、雇用調整助成金の活用で何とか雇用を維持しているが、制度が無くなると維持していけるかわからない状況である。平常時に戻った時にスタードダッシュをするためにも雇用の維持は非常に重要であるので、雇用調整助成金の制度延長を強く希望する。（旅館，ホテル） ・ＧｏＴｏの早期再開を望む。（専門料理店（日本料理店））|
十勝	・長年の懸案である社内のネットワーク及び原価管理等の基幹システムの入れ替えを進めており、現在試行で開始しているテレワーク等も拡大していく予定です。業績はある程度横ばいで維持していますが、採用面で土木設計部門の新規採用がなかなか進まず苦戦しております。 （土木建築サービス業（建築設計業））

8 業況感の長期推移



(注) Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月 Ⅱ＝4～6月 Ⅲ＝7～9月 Ⅳ＝10～12月
R4Ⅰは見込み

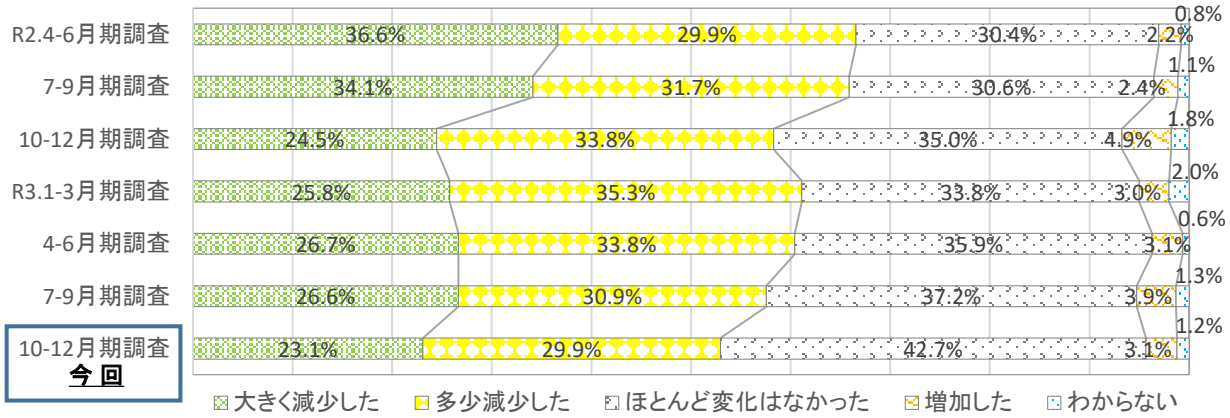
3　特別調査

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

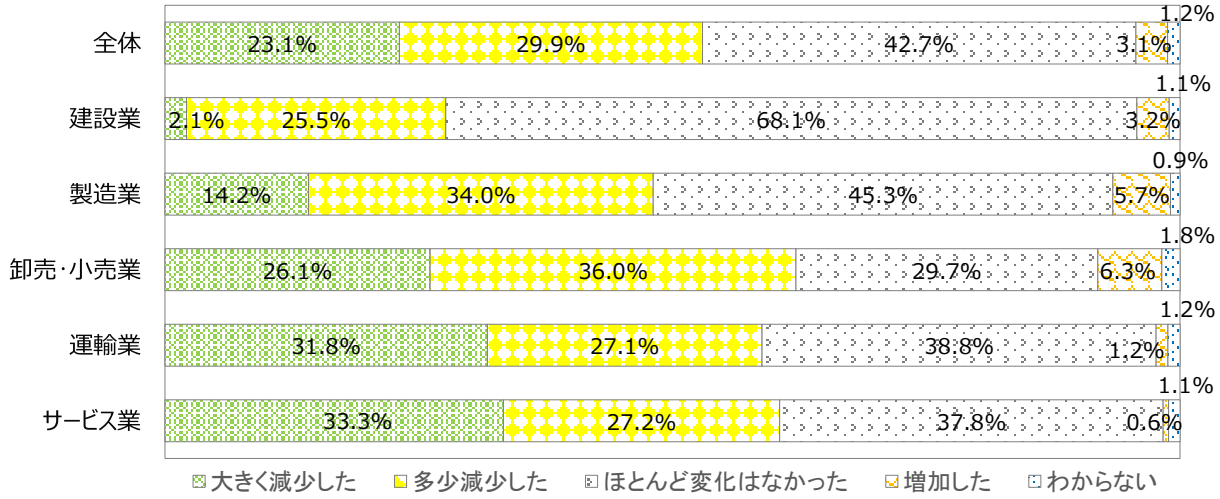
（1）　新型コロナウイルス感染症の拡大による売上･利益等への影響の程度

平年の同時期と比較した本年 10－12 月における売上･利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が 23.1%、「多少減少した」が 29.9%と、合わせて 53.0%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査との比較では、「減少した」の割合は縮小している。

全　体　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 53.0%（7-9 月期：57.5%）

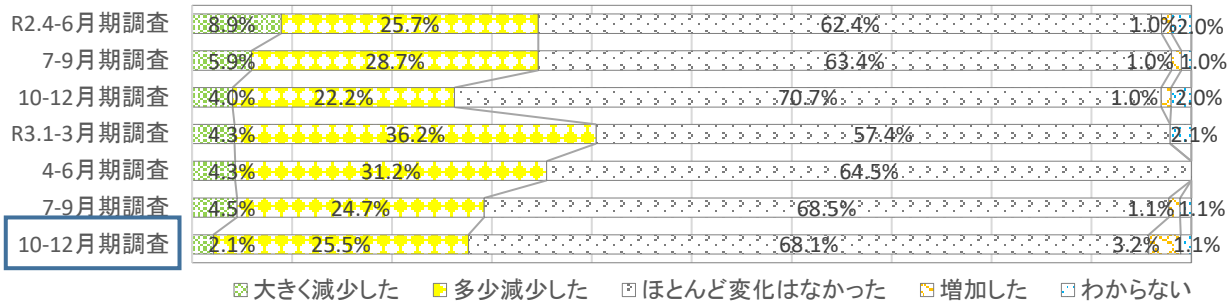


業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、サービス業が 33.3%と最も大きく、次いで運輸業が 31.8%となっており、建設業が 2.1%と最も小さくなっている。

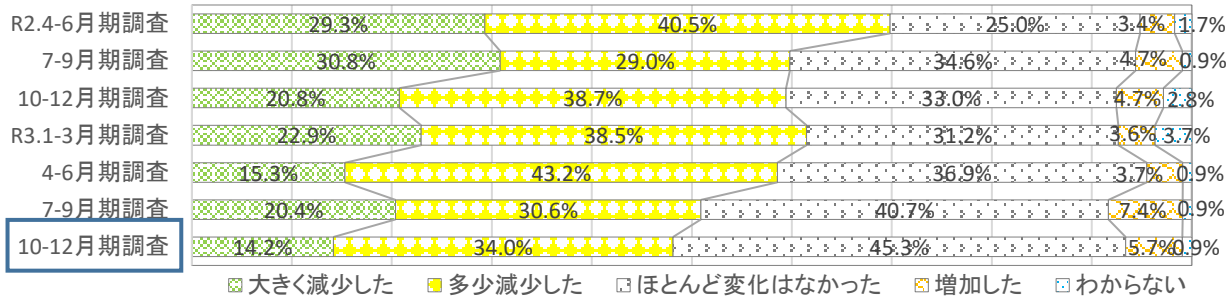


前回調査との比較では、「大きく減少した」と「多少減少した」と合わせた「減少した」の割合は、すべての業種で縮小している。

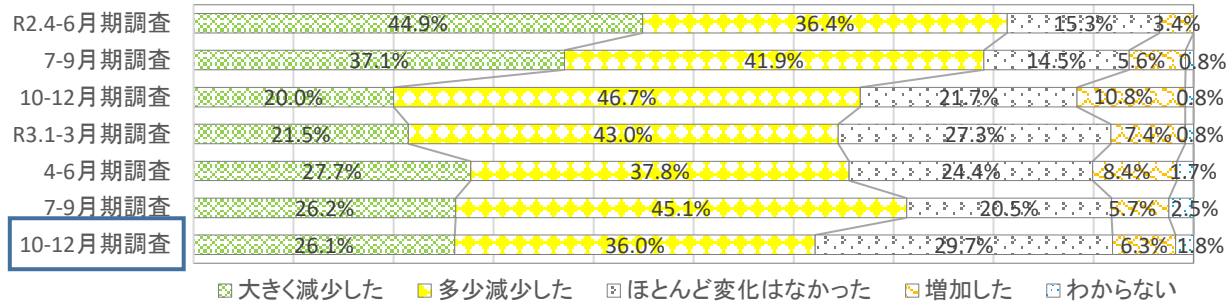
建 設 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝27.6%（7-9 月期：29.2%）



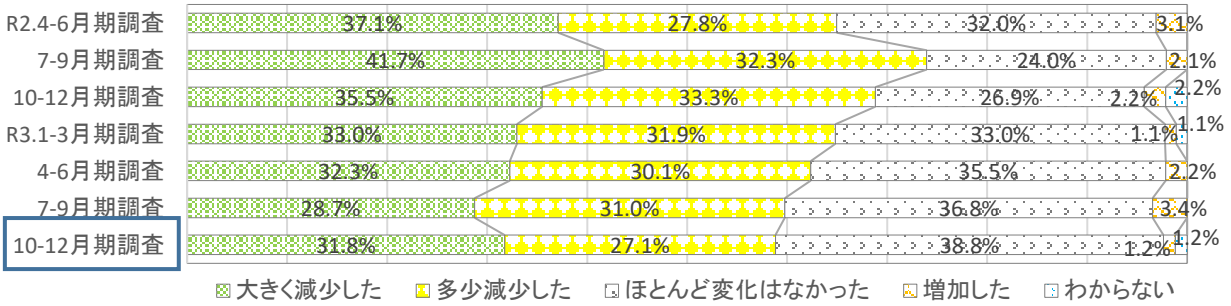
製 造 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 48.2%（7-9 月期：51.0%）



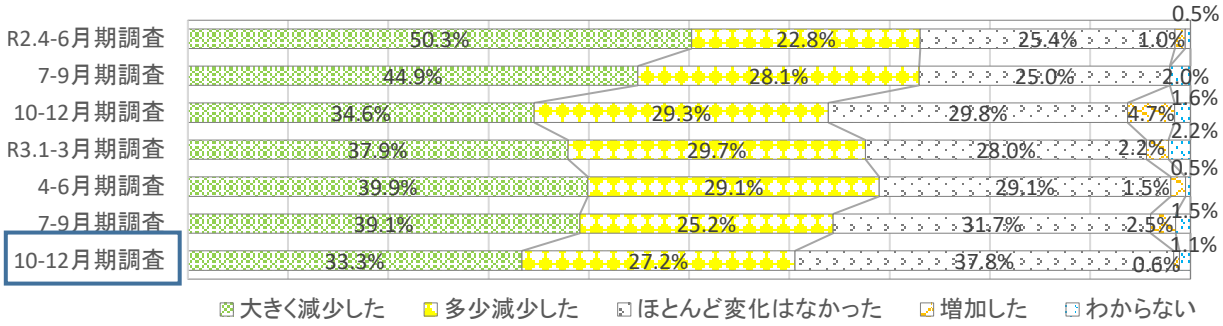
卸売・小売業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 62.1%（7-9 月期：71.3%）



運 輸 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 58.9%（7-9 月期：59.7%）

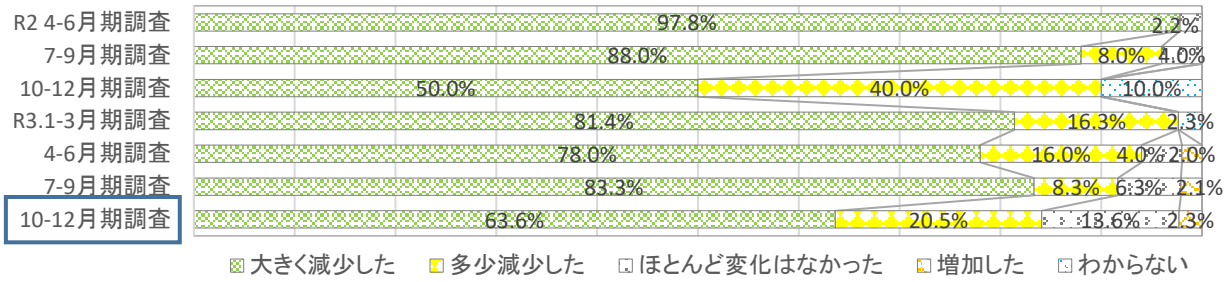


サービス業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 60.5%（7-9 月期：64.3%）

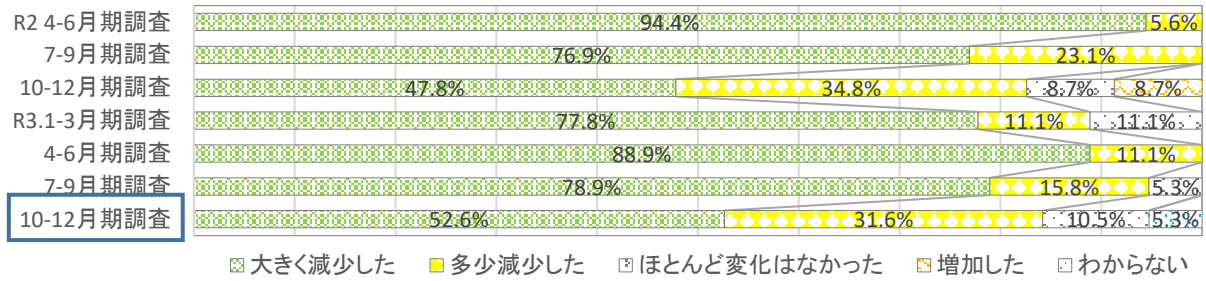


（サービス業のうち）

宿泊･旅行業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 84.1%（7-9 月期：91.6%）



飲 食 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 84.2%（7-9 月期：94.7%）

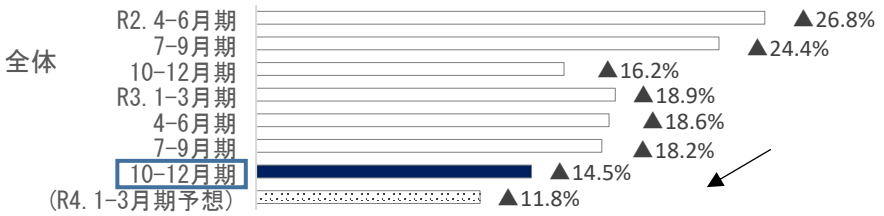


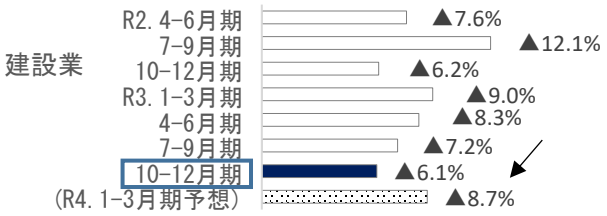
（２）売上の平年同期比減少率

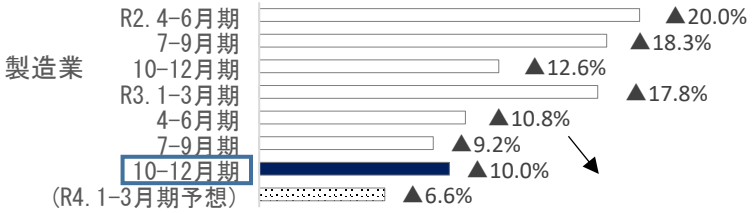
令和３年 10－12 月の売上の平年同期比増減率は、全体平均では▲14.5%となり、業種別では、サービス業が▲18.8%と最も減少率が大きく、次いで卸売･小売業が▲18.0%となっている。

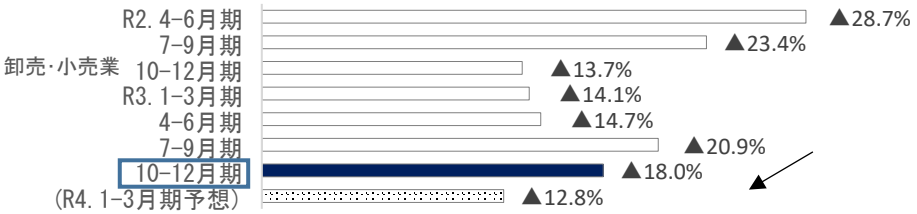
前回調査との比較では、全体で 3.7 ポイント改善しており、業種別では、製造業が 0.8 ポイント悪化している一方、サービス業が 6.7 ポイント、運輸業が 3.9 ポイント、卸売・小売業が 2.9 ポイント、建設業が 1.1 ポイントそれぞれ改善している。

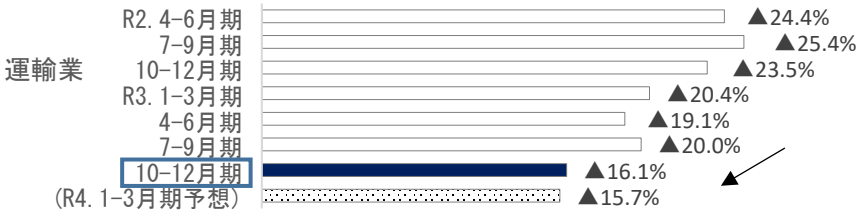
令和４年１－３月期の予想は、全体で 2.7 ポイントの改善となり、建設業を除く全ての業種で改善している。

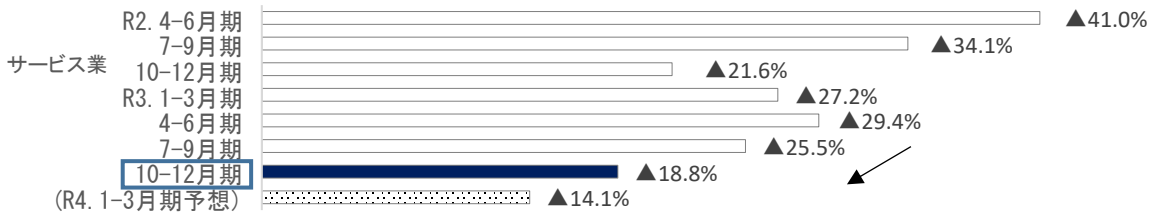






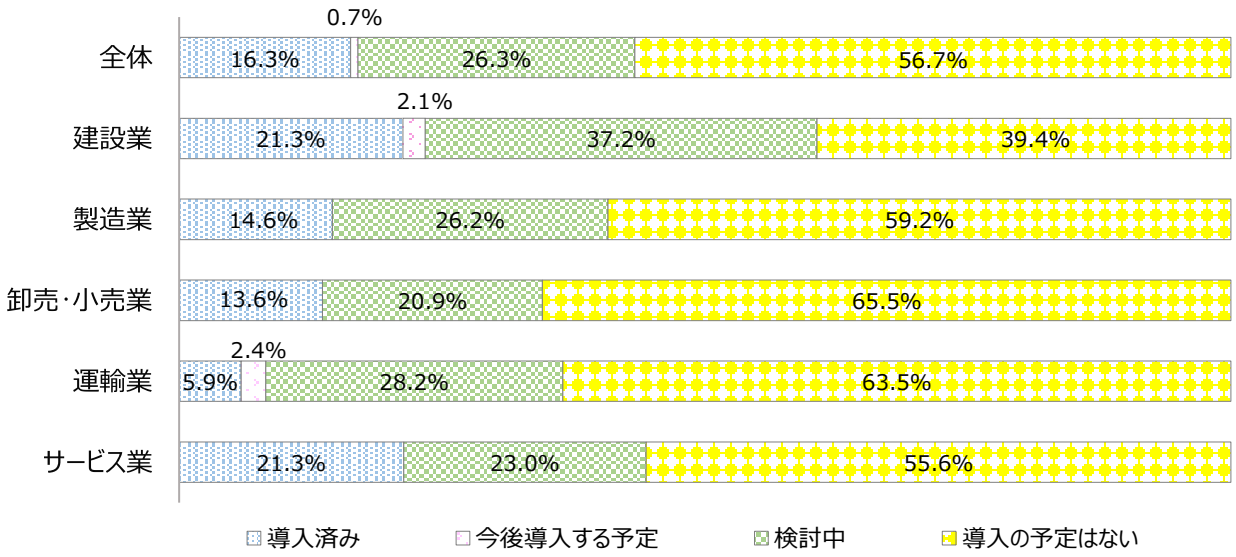






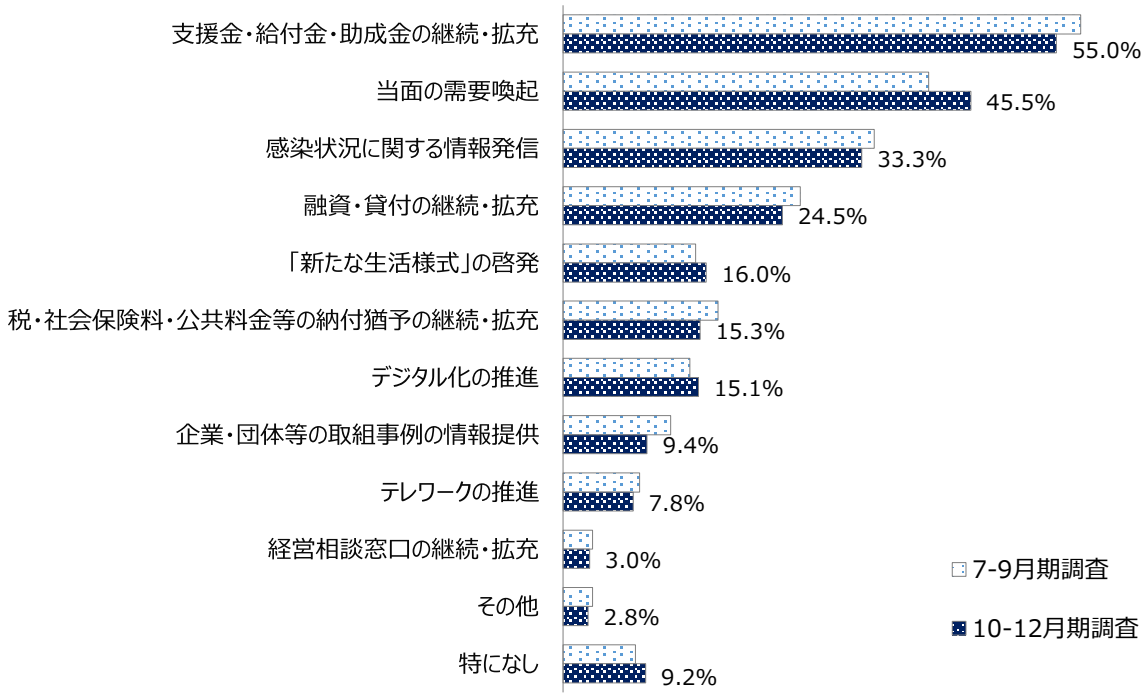
（３）テレワークの導入状況

接触機会の低減策として有効なテレワークの導入については、「導入済み」と回答した企業の割合は、全体では 16.3%となり、業種別では、建設業とサービス業が 21.3%%と最も大きく、運輸業が 5.9%と最も小さくなっている。



（４）行政に期待すること

行政に期待することについて最も多かった回答は、「支援金･給付金･助成金の継続･拡充」が 55.0%、次いで「当面の需要喚起」の 45.5%で、「感染状況に関する情報発信」が 33.3%となっている。（複数回答）

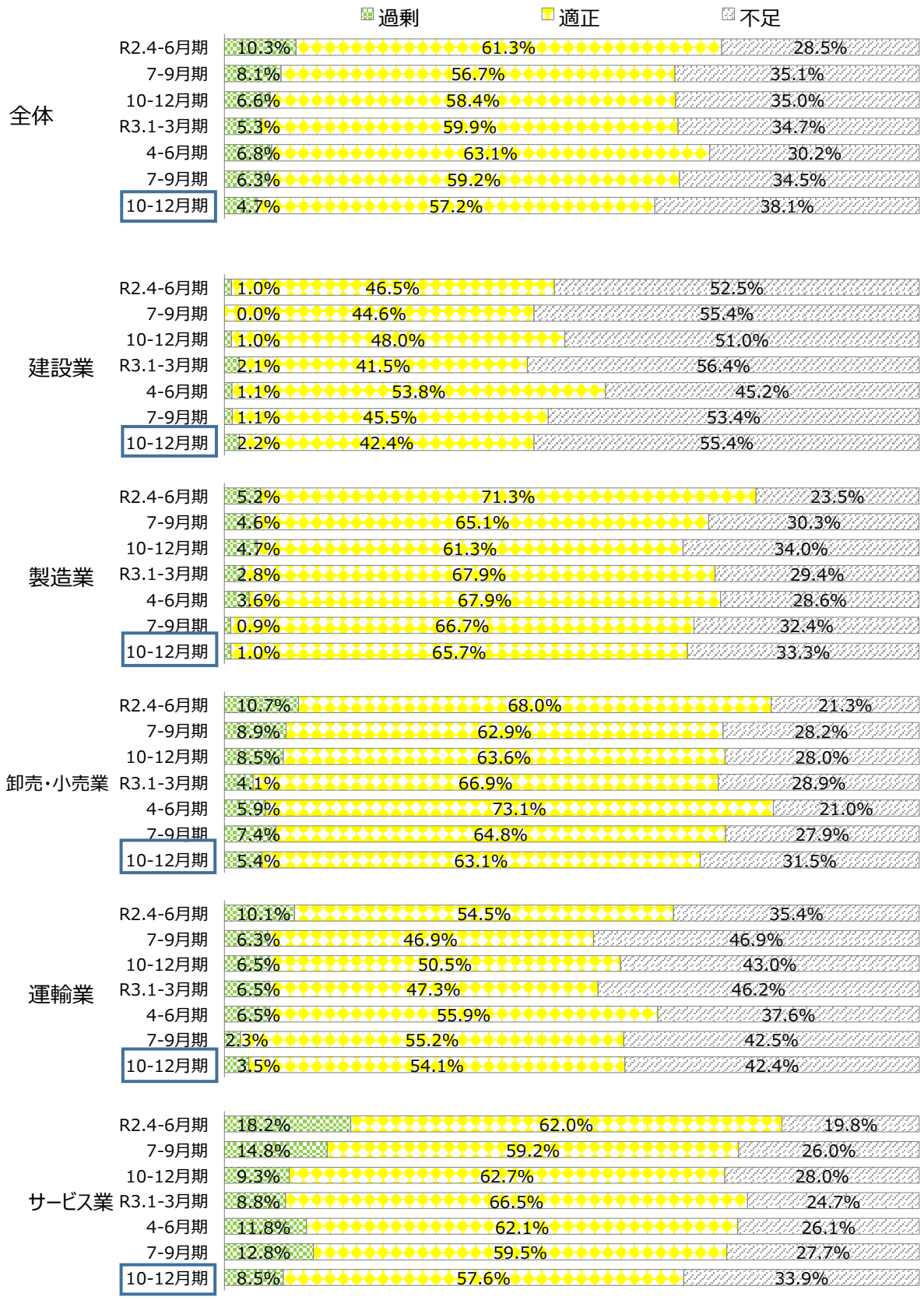


（５）正規及び非正規従業員の過不足感

①正規従業員

正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 4.7%、「適正」が 57.2%、「不足」が 38.1%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

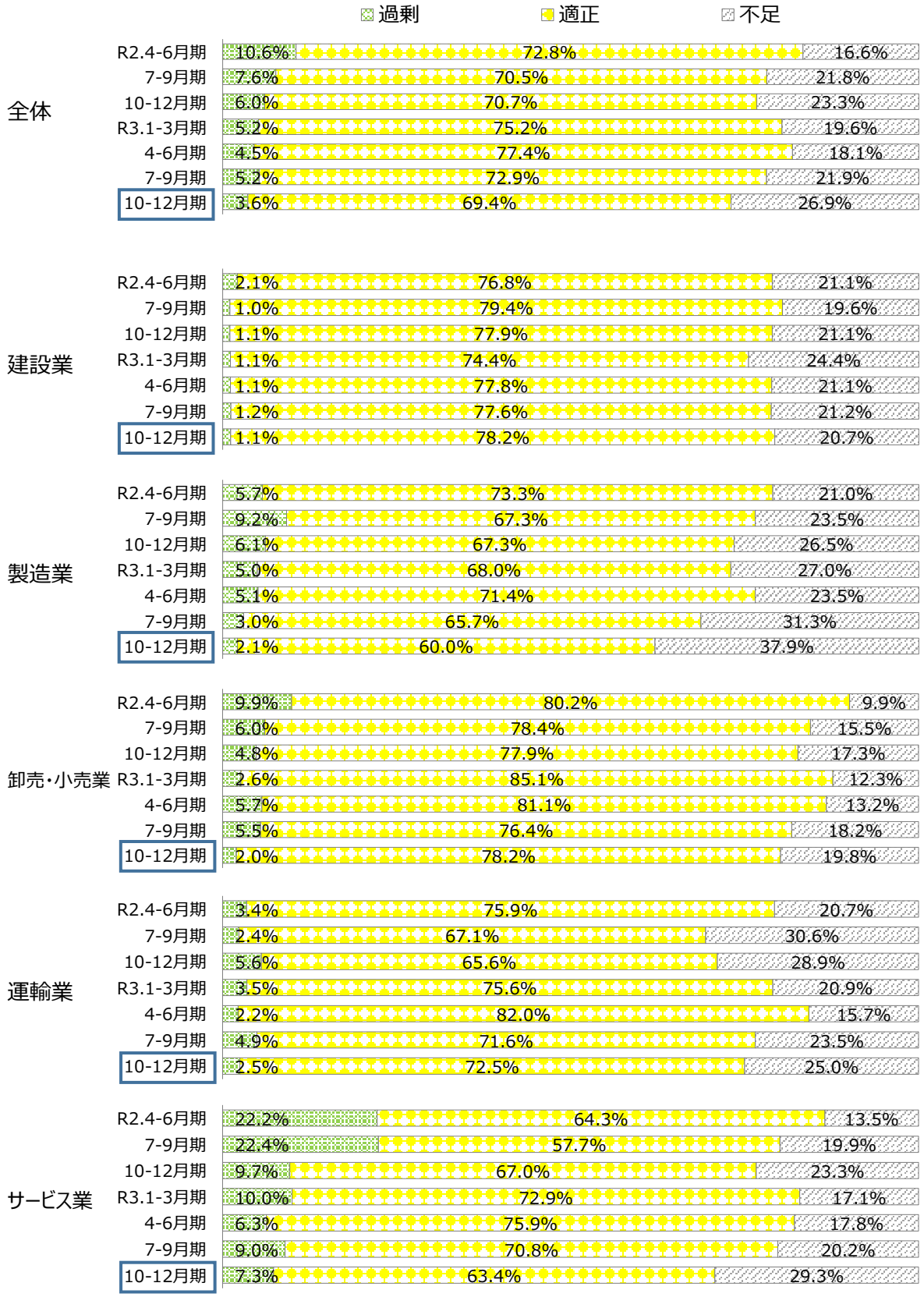
前回調査との比較では、「不足」の割合は全体で 3.6%拡大し、特に建設業と運輸業の不足感が引き続き高水準となっている。



②非正規従業員

非正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 3.6%、「適正」が 69.4%、「不足」が 26.9%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

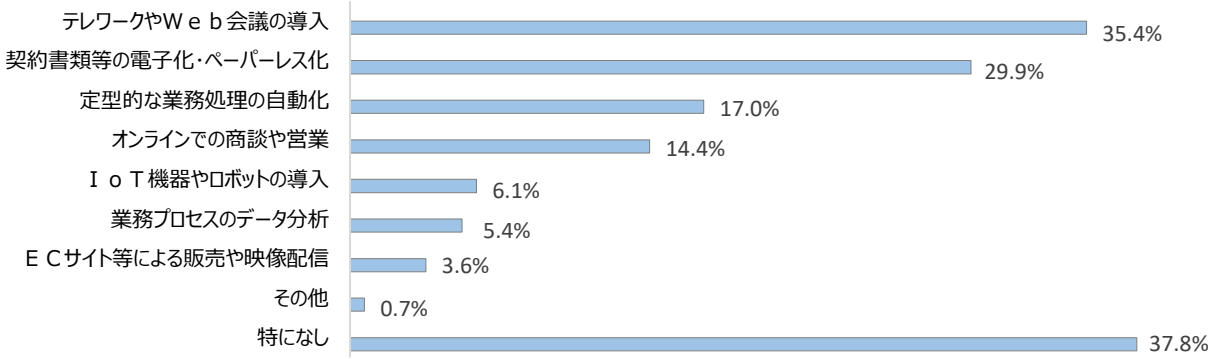
前回調査との比較では、「不足」の割合は全体で 5.0%拡大し、サービス業で 9.1%、製造業で 6.6%の拡大となっている。



２　デジタル化の取組について

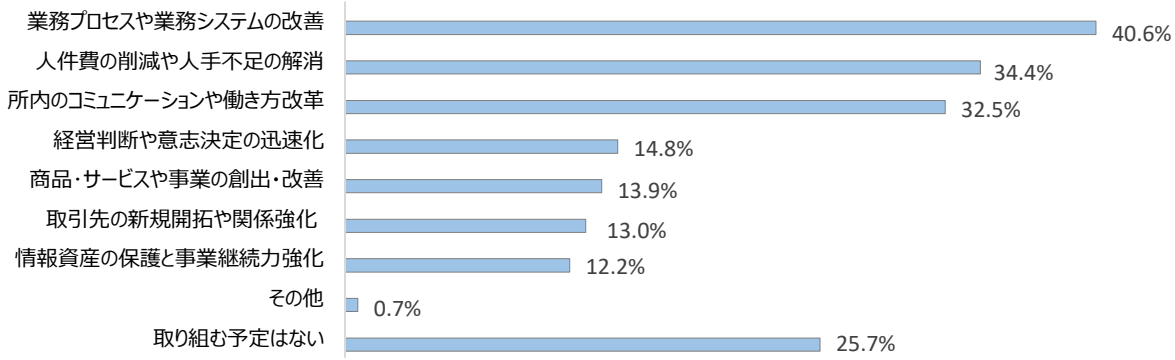
（１）現在取り組んでいるデジタル化の内容

現在取り組んでいるデジタル化の内容について最も多かった回答は、「テレワークやＷｅｂ会議の導入」の 35.4%で、次いで「契約書類等の電子化･ペーパーレス化」が 29.9%、「定型的な業務処理の自動化」が 17.0%となっている。（複数回答）



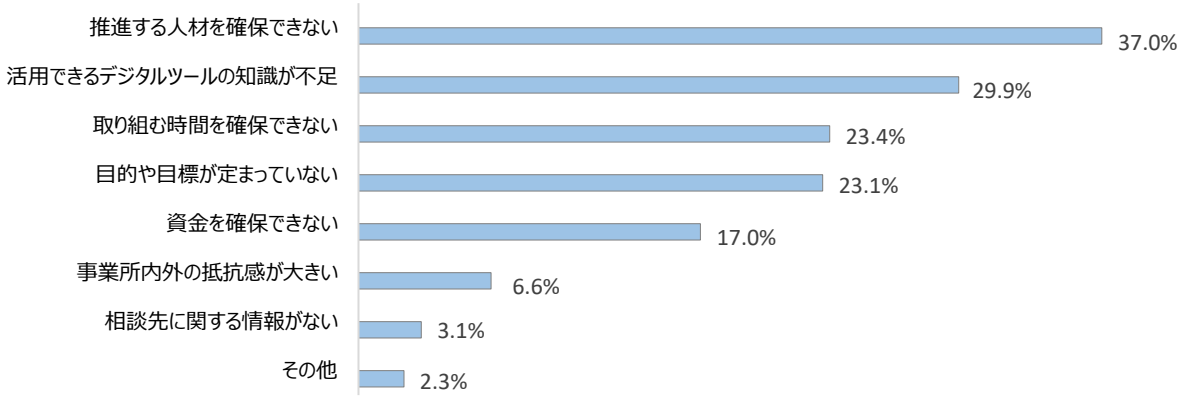
（２）デジタル化に取り組む際に重要視すること

デジタル化に取り組む際に重要視することについて最も多かった回答は、「業務プロセスや業務システムの改善」の 40.6%で、次いで「人件費の削減や人手不足の解消」が 34.4%、「所内のコミュニケーションや働き方改革」が 32.5%となっている。（複数回答）



（３）デジタル化に取り組む上での課題

デジタル化に取り組む上での課題について最も多かった回答は、「推進する人材を確保できない」の 37.0%で、次いで「活用できるデジタルツールの知識が不足」が 29.9%、「取り組む時間を確保できない」が 23.4%となっている。（複数回答）

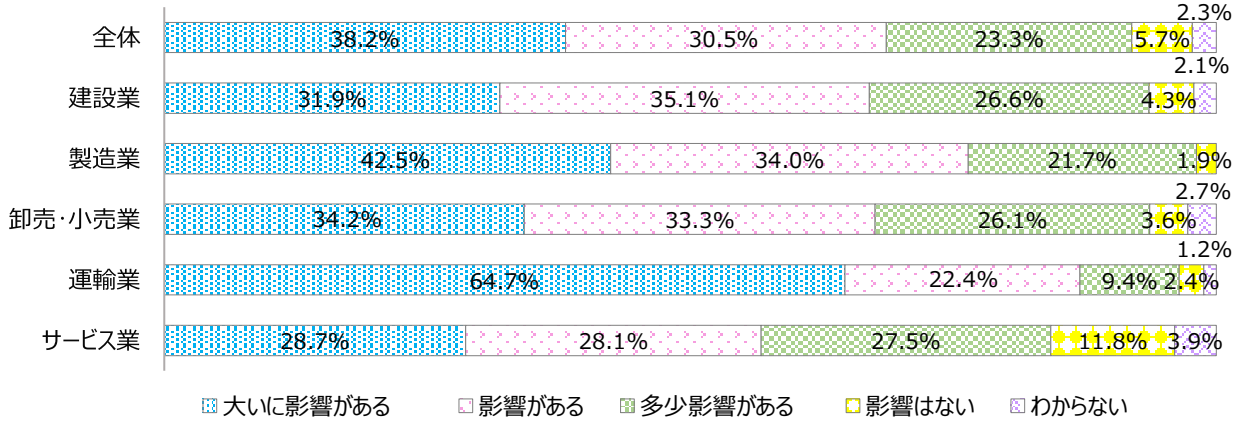


３　原油・原材料価格高騰の影響について

（１）経営への影響

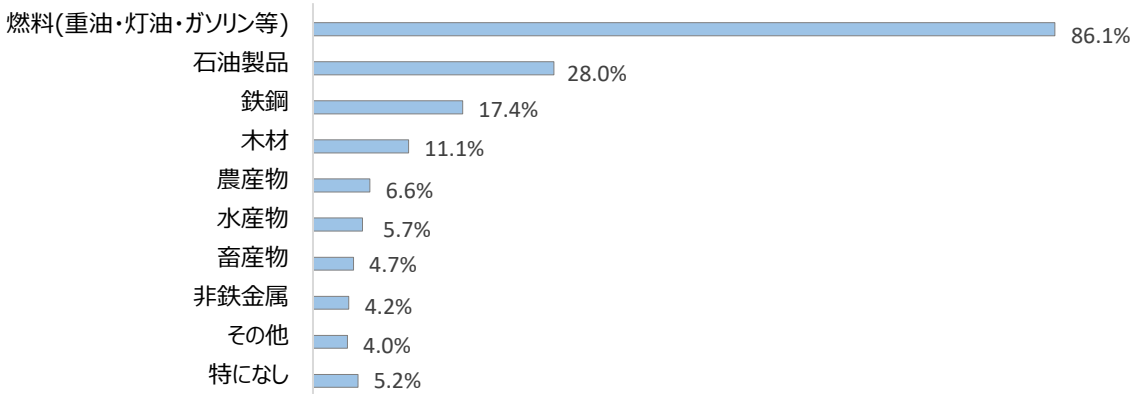
原油・原材料価格高騰の経営への影響については、全体では「大いに影響がある」と回答した企業が 38.2%と最も多く、「影響がある」の 30.5%、「多少影響がある」の 23.3%と合わせて、92.0%の企業が「影響がある」と回答している。

業種別でみると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は、運輸業が 64.7%と最も大きく、次いで製造業が 42.5%となっており、サービス業が 28.7%と最も小さくなっている。



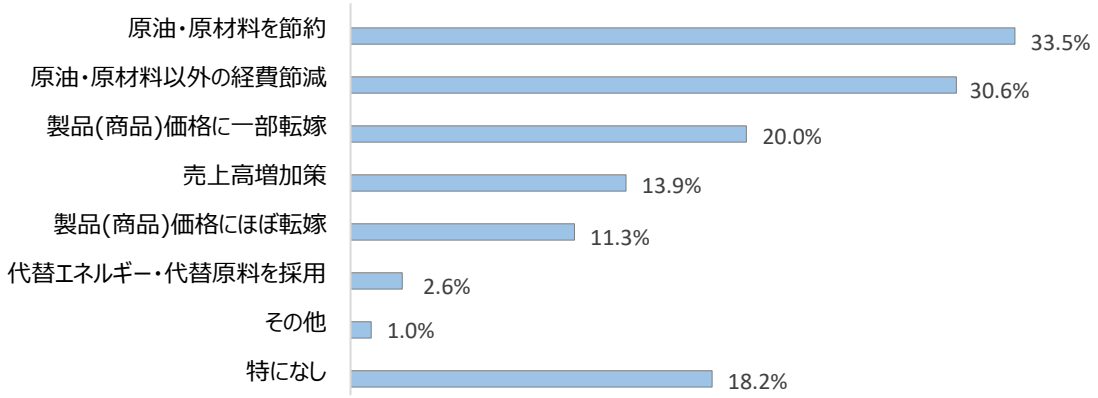
（２）経営に影響を与えている品目

経営に影響を与えている品目について最も多かった回答は、「燃料（重油・灯油・ガソリン等）」の 86.1%で、次いで「石油製品」が 28.0%、「鉄鋼」が 17.4%となっている。（複数回答）



（３）経営への影響緩和対策

経営への影響緩和対策について最も多かった回答は、「原油・原材料を節約」の 33.5%で、次いで「原油・原材料以外の経費節減」が 30.6%、「製品（商品）価格に一部転嫁」が 20.0%となっている。（複数回答）

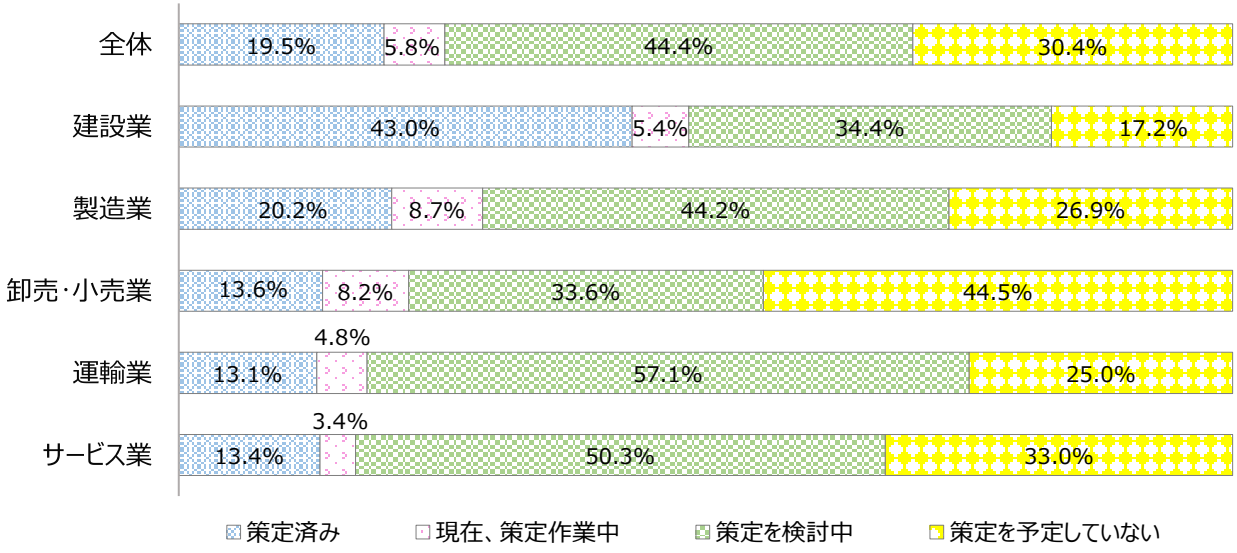


４　事業継続の取組について

（１）事業継続計画（ＢＣＰ）の策定

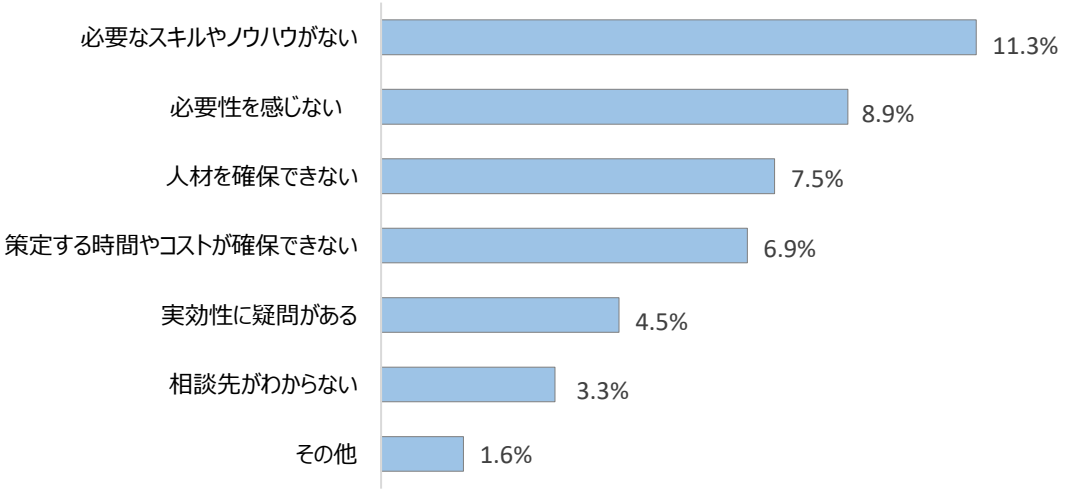
事業継続計画（ＢＣＰ）または事業継続力強化計画の策定については、全体では「策定済み」と回答した企業が 19.5%、「現在、策定作業中」が 5.8%、「策定を検討中」が 44.4%、「策定を予定していない」が 30.4%となっている。

業種別でみると「策定済み」と回答した企業の割合は、建設業で 43.0%と最も大きく、次いで製造業が 20.2%で、卸売･小売業、運輸業、サービス業はいずれも 13%台となっている。



（２）「策定を予定していない」理由

事業継続計画等の策定を予定していない理由について最も多かった回答は、「必要なスキルやノウハウがない」の 11.3%で、次いで「必要性を感じない」が 8.9%、「人材を確保できない」が 7.5%となっている。（複数回答）



4　調査方法

1　調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2　調査時点

令和 3 年 12 月 31 日

3　調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4　調査対象及び回答企業数

区　分		調査対象企業数（A）	回答企業数（B）	回答率（B／A・%）
総　計		**900**	**581**	**64.6**
	札幌市を除く	700	458	65.4
	札幌市	200	123	61.5
業種	建設業	125	94	75.2
	製造業	150	107	71.3
	卸売･小売業	188	112	59.6
	運輸業	131	85	64.9
	サービス業	306	183	59.8
資本金	5千万円未満	618	377	61.0
	5千万以上～1億円未満	156	119	76.3
	1億円以上	126	85	67.5
地域	道南	109	71	65.1
	道央	382	247	64.7
	札幌市を除く	182	124	68.1
	札幌市	200	123	61.5
	道北	132	90	68.2
	オホーツク	89	60	67.4
	十勝	94	59	62.8
	釧路・根室	94	54	57.4

（注）［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

5　ＢＳＩ（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各ＢＳＩ指標を次により算出。

ＢＳＩ＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「下降」とする企業の割合（%））
（－100≦ＢＳＩ≦100）

【計算例（企業数：200 社)】

業況感について、「上昇」とした企業 20 社、「横ばい」とした企業 120 社、「下降」とした企業 60 社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス 20　　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第 132 回）

令和４年１月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html